

— ポンプ場編 —

第2章 施設情報の収集整理

リスク評価、施設管理の目標設定、長期的な改築事業のシナリオ設定、点検・調査計画及び、修繕・改築計画の策定に必要な「上位計画」、「他計画」、「諸元」、「リスク」、「点検・調査」、「修繕・改築」に関する施設情報を収集・整理する。

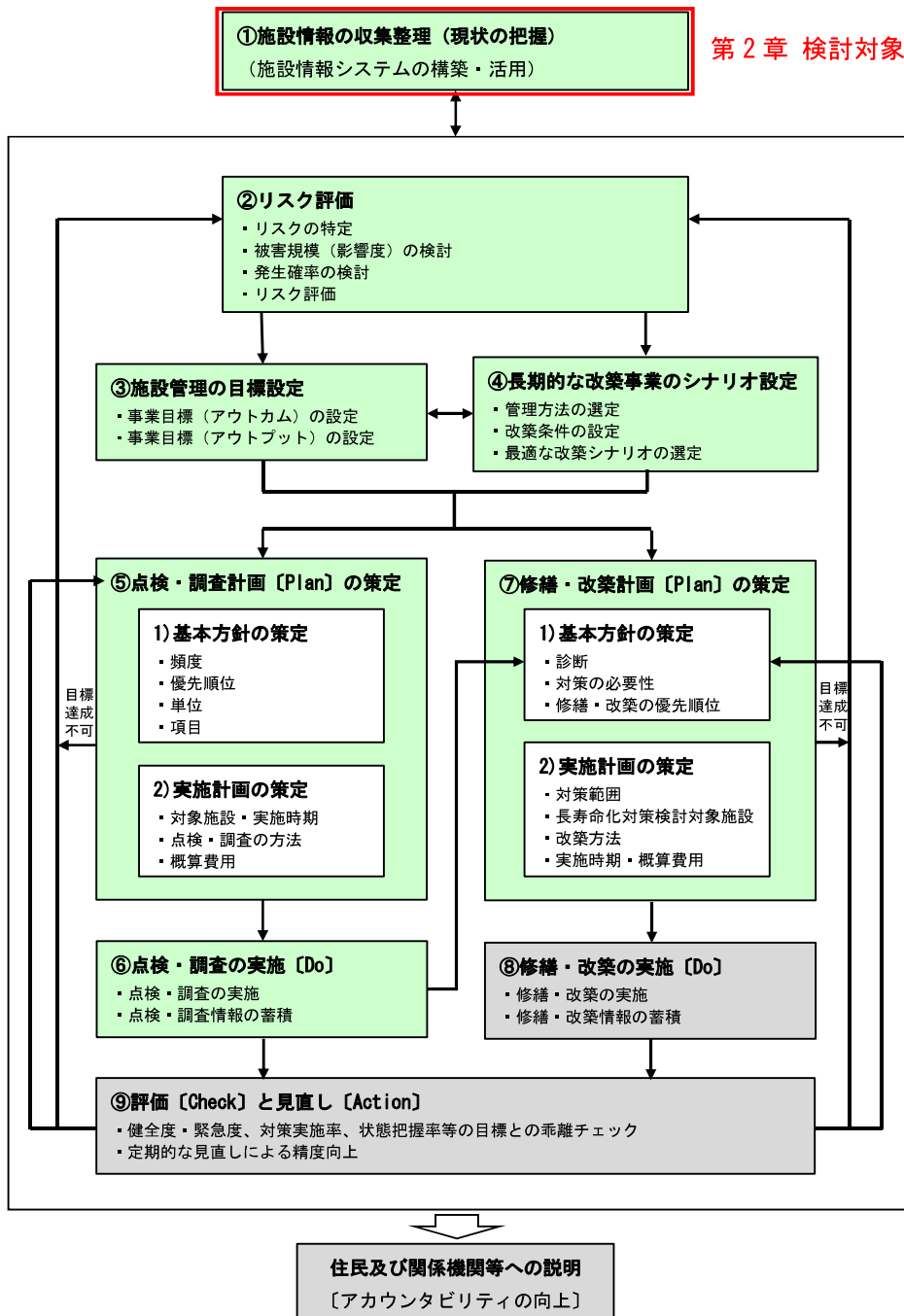


図 2.1 スtockマネジメントの実施フロー

2.1 施設情報の収集一覧

本計画で収集した資料を以下に示す。

表 2.1.1 収集資料一覧（1/2）

収集情報	収集目的	資料名称	計画策定 (又は変更)年	収集 状況	備考
①上位計画					
(1)国の動向	上位計画の確認	国土のグランドデザイン2050	平成26年7月	有	
		第4次社会資本整備重点計画	平成27年9月	有	
		新下水道ビジョン～「循環のみち」の持続と進化～	平成26年7月	有	
		新下水道ビジョン加速戦略	平成29年8月	有	
		平成27年下水道法等の一部を改正する法律	平成27年5月	有	
		下水道ストックマネジメント支援制度	平成27年11月	有	
(2)府の動向		大阪府の下水道	平成26年4月	有	
		大阪府流域下水道経営ビジョン	平成24年3月	有	
(3)藤井寺市		第5次藤井寺市総合計画	平成28年6月	有	
		藤井寺市公共施設等総合管理計画	平成28年3月	有	
②他計画に関する情報					
1)下水道計画	関連計画の確認	平成27年度藤井寺市流域関連公共下水道事業計画藤井寺市寝屋川南部流域関連公共下水道	平成28年3月	有	
		平成24年度藤井寺市流域関連公共下水道事業計画藤井寺市大和川下流西部流域関連公共下水道	平成25年3月	有	
		平成24年度藤井寺市流域関連公共下水道事業計画藤井寺市大和川下流東部流域関連公共下水道	平成25年3月	有	
2)下水道BCP	関連計画の確認	藤井寺市下水道事業 業務継続計画(簡易な下水道BCP 作成例<本庁編>)	平成28年度	有	簡易版
3)地球温暖化対策計画	関連計画の確認	EC02プランふじいでら 藤井寺市地球温暖化対策推進実行計画	平成13年3月	有	
③緒元に関する情報					
1)設置費用情報	設置価格・仕様の確認	設備台帳 資産台帳	—	有	固定資産評価業務
④リスクの検討に関する情報					
1)点検・調査結果	施設構造、劣化状況の確認	平成28年度 各機器点検総合評価	平成28年	有	
2)ハザードマップ	浸水等の確認	洪水ハザードマップ 内水ハザードマップ	平成28年3月	有	
⑤点検・調査に関する情報					
1)点検・調査情報	点検・調査履歴の確認	【施設】メーカ点検 電気保安協会 消防点検 水没機器の点検写真 修繕履歴 保全履歴	—	有	
2)修繕・改築情報	修繕・改築済み箇所の確認		—	有	
3)維持管理情報	日常の維持管理情報の確認	H24～27総合管理業務 報告書他	—	有	
4)事故・苦情情報	事故や苦情の内容、発生位置の確認		—	有	

表 2.1.1 収集資料一覧 (2/2)

収集情報	収集目的	資料名称	収集時期	収集状況	備考
⑥既存届出資料					
1)更新計画への影響	更新計画への影響の確認	①建築基準法:計画通知書・検査済書 ②消防関連法:危険物取扱所、小出槽、地下燃料タンク届出 ③騒音・振動規制法:特定施設届出 ④その他関連法令	—	有	
⑦完成図書・設計図書・計画関連・設計書					
1)機器仕様情報	機器仕様の確認	完成図書	—	有	
2)更新情報	更新状況の確認	設計図書	—	有	
3)取得金額・契約日等	データベースの構築	設計書・契約書	—	有	

2.2 上位計画等に関する情報の収集・整理

(1) 国の動向

1) 国土のグランドデザイン 2050【平成26年7月公表】

新たな「国土のグランドデザイン」に関し、今般、「国土のグランドデザイン 2050～対流促進型国土の形成～」としてとりまとめた。「国土のグランドデザイン 2050」は、急速に進む人口減少や巨大災害の切迫等、国土形成計画（平成20（2008）年閣議決定）策定後の国土を巡る大きな状況の変化や危機感を共有しつつ、2050年を見据えた、国土づくりの理念や考え方を示すものである。本計画に関連する事項としては、基本戦略のうち『(8) インフラを賢く使う』として位置付けており、『次世代インフラマネジメントを構築し、今後日本と同様に構造物インフラの上で経済を発展させる必要のある諸外国にも貢献する』と記されている。

国土のグランドデザイン2050 ～対流促進型国土の形成～

「国土のグランドデザイン2050～対流促進型国土の形成～」は、本格的な人口減少社会の到来、巨大災害の切迫等に対する危機意識を共有しつつ、2050年を見据え、未来を切り開いていくための国土づくりの理念・考え方を示すものです。

時代の潮流と課題

- ① 急激な人口減少、少子化
- ② 異次元の高齢化の進展
- ③ 都市間競争の激化などグローバル化の進展
- ④ 巨大災害の切迫、インフラの老朽化
- ⑤ 食料・水・エネルギーの節約、地球環境問題
- ⑥ ICTの劇的な進歩など技術革新の進展

▶ 国土計画のメソッドはAGDと、人口が半減以下になる過半数の自治体地域の削減以上、削減は避けられない。
▶ 人口増加する自治体の割合は約7%であり、国土大規模に劣る。

【2010年を100とした場合の2050年の人口構成状況】

▶ 多様性と連携による国土・地域づくり

- ① 各地域が「多様性」を再構築し、自らの資源に磨きをかける
- ② 複数の地域間の「連携」により、人・モノ・情報の交流を促進

▶ 「多様性と連携」を支えるのがコンパクト・ネットワーク
▶ コンパクト・ネットワークは、交通・通信、産業・商業を盛り込み、都市の機能を充実するとともに、産業空間と知識・情報空間を結びつける
▶ 文脈に、それぞれの地域の多様であるから対流促進型
▶ 対流のエンジンには多様性（連携型）の役割がある（多様性は対流促進型）
→ 常に多様性を生み出して必要

国土づくりの3つの理念

多様な
「ライオンシティ」

コンパクト
「コンパクトシティ」

多様なモードの
「マルチモビリティ」

地方地方創生推進

経済指標	2010年	2030年
人口	127.0	116.9
雇用	92.5	90.9

このままでは30万人単位圏がなくなる

経済指標	2010年	2050年
人口	127.0	104.0
雇用	92.5	37.3

ネットワークにより30万人単位圏を維持

スーパーメガリジョン

リニア中央新幹線はメガリジョンの地下鉄。
～都市圏間は都市内移動へ～

キーワードは 《コンパクト+ネットワーク》

コンパクト+ネットワークの意義・必要性

- ① 質の高いサービスを効率的に提供
- ▶ 人口減少が続く中、各都市・サービス産業が自給自足なコンパクト化が不可欠
- ▶ 都市・コンパクト化が前提で、地域・ネットワークが不可欠
- ▶ このため、コンパクトにより都市機能を凝縮した高集約人口を確保

- ② 新たな価値創造
- ▶ 都市・地域の活性化に不可欠なインフラ・インセンティブを創出
- ▶ コンパクト+ネットワークは、国土全体の「生産性」を高める国土構造

基本戦略

- ① 国土の「多様性」を再構築し、自らの資源に磨きをかける
- ② 複数の地域間の「連携」により、人・モノ・情報の交流を促進
- ③ 国土全体の「生産性」を高める国土構造
- ④ 国土全体の「生産性」を高める国土構造
- ⑤ 国土全体の「生産性」を高める国土構造

▶ 国土計画のメソッドはAGDと、人口が半減以下になる過半数の自治体地域の削減以上、削減は避けられない。
▶ 人口増加する自治体の割合は約7%であり、国土大規模に劣る。

【2010年を100とした場合の2050年の人口構成状況】

▶ 多様性と連携による国土・地域づくり

- ① 各地域が「多様性」を再構築し、自らの資源に磨きをかける
- ② 複数の地域間の「連携」により、人・モノ・情報の交流を促進

▶ 「多様性と連携」を支えるのがコンパクト・ネットワーク
▶ コンパクト・ネットワークは、交通・通信、産業・商業を盛り込み、都市の機能を充実するとともに、産業空間と知識・情報空間を結びつける
▶ 文脈に、それぞれの地域の多様であるから対流促進型
▶ 対流のエンジンには多様性（連携型）の役割がある（多様性は対流促進型）
→ 常に多様性を生み出して必要

国土づくりの3つの理念

多様な
「ライオンシティ」

コンパクト
「コンパクトシティ」

多様なモードの
「マルチモビリティ」

地方地方創生推進

経済指標	2010年	2030年
人口	127.0	116.9
雇用	92.5	90.9

このままでは30万人単位圏がなくなる

経済指標	2010年	2050年
人口	127.0	104.0
雇用	92.5	37.3

ネットワークにより30万人単位圏を維持

スーパーメガリジョン

リニア中央新幹線はメガリジョンの地下鉄。
～都市圏間は都市内移動へ～

SM計画に関連する事項

出典：国土交通省

図 2.2.1 国土のグランドデザイン 2050 の概要

2) 国土強靱化基本計画【平成26年6月閣議決定】

本計画は、国土の健康診断にあたる脆弱性評価を踏まえて、強靱な国づくりのためのいわば処方箋を示したものである。また、国土強靱化に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、本計画以外の国土強靱化に関する国の計画等の指針となるべきものとして策定されている。本計画に関連する事項としては、『老朽化対策分野』に位置付いており、『既存インフラの高齢化の割合が加速度的に増加するなど、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが今後一斉に老朽化することを踏まえ、人命を守り、必要な行政・経済社会システムが機能不全に陥らないようにする観点から、中長期的なトータルコストの縮減・平準化を図りつつ、インフラの維持管理・更新を確実に実施する。』と記されている。

国土強靱化基本計画の概要

平成26年6月3日
閣議決定

国土強靱化基本計画について

- 国土強靱化基本法第10条に基づく計画で、国土強靱化に係る国の他の計画等の指針となるもの（アンブレラ計画）
- 脆弱性評価結果を踏まえた、**施策分野ごと及びプログラムごとの推進方針**を定める

●国土強靱化の基本的考え方（第1章） 【基本的な方針等】

【理念】

- 国土強靱化の基本目標
 - ①人命の保護
 - ②国家・社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持される
 - ③国民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
 - ④迅速な復旧復興
- 災害時でも機能不全に陥らない経済社会システム【特に配慮すべき事項】
を平時から確保し、国の経済成長の一翼を担う

- 依然として進展する東京一極集中からの脱却、「自律・分散・協調」型の国土の形成
- 施策の重点化、ハード対策とソフト対策の適切な組み合わせ
- 既存社会資本の有効活用等による費用の削減
- PPP/PFIによる民間資金の積極的な活用
- PDCAサイクルの繰り返しによるマネジメント等
- オリンピック・パラリンピックに向けた対策等

●脆弱性評価（第2章） 略

●国土強靱化の推進方針（第3章） ～施策分野ごとの推進方針～

<p>【行政機能／警察・消防等分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政府全体の業務継続計画を踏まえた対策の推進等 <p>【住宅・都市分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・密集市街地の火災対策、住宅・学校等の耐震化、建築物の長周期地震動対策等 <p>【保健医療・福祉分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資機材、人材を含む医療資源の適切な配分を通じた広域的な連携体制の構築等 <p>【エネルギー分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー供給設備の災害対応力、地域間の相互融通能力の強化等 <p>【金融分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融システムのバックアップ機能の確保、金融機関横断的な合同訓練の実施等 <p>【情報通信分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信システムの長期電力供給停止等に対する対策の早期実施等 <p>【産業構造分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業連携型BCP/BCMの構築促進等 <p>【交通・物流分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通・物流施設の耐災害性の向上等 	<p>【農林水産分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業に係る生産基盤等のハード対策や流通・加工段階のBCP/BCM構築等ソフト対策の実施等 <p>【国土保全分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災施設の整備等のハード対策と警戒避難体制の整備等のソフト対策を組み合わせた総合的な対策等 <p>【環境分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物の迅速かつ適正な処理を可能とする廃棄物処理システムの構築等 <p>【土地利用（国土利用）分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多重性・代替性を高めるための日本海側と太平洋側の連携等 <p>【リスクコミュニケーション分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や自治体、国民や事業者等の自発的取組促進のための双方向コミュニケーション、教育、訓練等 <p>【老朽化対策分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画に基づく、メンテナンスサイクルの構築等 <p>【研究開発分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害・老朽化対策に資する優れた技術の研究開発、普及、活用促進等
---	---

●計画の推進と不断の見直し（第4章）

- 今後、国土強靱化に係る国の他の計画について必要な見直しを行いながら計画を推進
- 概ね5年ごとに計画内容の見直し、それ以前においても必要に応じて所要の変更
- 起きてはならない最悪の事態を回避するプログラムの推進計画（※）を毎年度の国土強靱化アクションプランとして推進本部が策定。これにより施策やプログラムの進捗管理及び重要業績指標等による定量的評価を実施。
- （※）プログラムごとの推進方針（略）に重要業績指標（KPI）を加えて作成
- 重点化すべき15プログラムを重点的に推進

SM計画に関連する事項

図 2.2.2 国土強靱化基本計画の概要

2-7

3) 第 4 次社会資本整備重点計画【平成 27 年 9 月閣議決定】

社会資本整備重点計画は、社会資本整備重点計画法（平成 15 年法律第 20 号）に基づき、社会資本整備事業を重点的、効果的かつ効率的に推進するために策定する計画である。本計画の位置づけは、社会資本整備が直面する 4 つの構造的課題のうち、【(1) 加速するインフラ老朽化】に対し、【重点目標 1 社会資本の戦略的な維持管理・更新を行う】となっている。



本計画に関連する事項

出典：国土交通省

図 2.2.3 第4次社会資本整備重点計画の概要

4) 新下水道ビジョン～「循環のみち」の持続と進化～【平成26年7月策定】

「新下水道ビジョン」は、国内外の社会経済情勢の変化等を踏まえ、下水道の使命、長期ビジョン、及び、中期計画（今後10年程度の目標及び具体的な施策）を提示している。



出典：新下水道ビジョンについて（概要）

図 2.2.4 新下水道ビジョンの概要

5) 新下水道ビジョン加速戦略（平成29年8月策定）



出典：国土交通省新下水道ビジョン加速戦略検討会（平成29年度）

図 2.2.5 新下水道ビジョン加速戦略（平成29年8月策定）

6) 平成27年下水道法等の一部を改正する法律【平成27年5月成立】

「水防法等の一部を改正する法律」が、平成27年5月20日に公布、7月19日に一部施行、11月19日に完全施行された。本計画は「3. 持続的な機能確保のための下水道管理」にに関連するストックマネジメント計画である。

水防法等の一部を改正する法律 <平成27年5月13日成立、5月20日公布>

背景・必要性

- 近年、洪水のほか、内水・高潮により、現在の想定を超える浸水被害が多発
- 都市における浸水被害の軽減のため、下水道整備のみでは対応が困難な地域における民間の協力等が必要
- 今後、老朽化した下水道施設が増加する一方で、地方公共団体での執行体制の脆弱化が進む中、予防保全を中心とした戦略的維持管理・更新により、下水道機能を持続的に確保することが必要
- エネルギー基本計画等を踏まえ、再生可能エネルギーの活用促進が必要



平成25年8月大阪市柏田駅周辺での浸水

改正の概要

※ 多発する浸水被害への対応を図るため、ハード・ソフト両面からの対策を推進する。

1. 想定し得る最大規模の洪水・内水・高潮への対策【ソフト対策】

- 運行の状況に係る浸水想定区域[※]について、想定し得る最大規模の降雨を前提とした区域に充満
- 新たに、内水及び高潮に係る浸水想定区域制度を設け、想定し得る最大規模の降雨・高潮を前提とした区域を公表

※ 浸水想定区域…市町村地域防災計画に洪水予報等の伝達方法、避難場所、避難経路等が定められ、ハザードマップにより、当該区域が住民等に周知されることにより、地下街等の所有者が避難確保等計画を定めること等により、避難確保等が図られる。

3. 持続的な機能確保のための下水道管理

- 下水道の維持修繕基準の創設
- 下水道の維持修繕基準を創設するとともに、専ら計画の記載事項として点検の方法・頻度を追加

地方公共団体への支援の強化

- 地方公共団体の委託に基づき、日本下水道事業団が、高度な技術力を要する管渠の更新等や管渠の維持管理をできるような措置、併せて代行制度を導入
- 下水道管理の広域化・共同化を促進するための協議会制度を創設（構成員は協議結果を尊重）

2. 比較的発生頻度の高い内水に対する地域の状況に応じた浸水対策【ハード対策】

官民連携による浸水対策の推進

- 都市機能が集積し、下水道のみでは浸水被害への対応が困難な地域において、民間の協力を機軸として、浸水被害対策を推進するため、「浸水被害対策区域」を指定し、民間の設置する雨水貯留施設を下水道管理者が協定に基づき管理する制度等を創設

雨水排除に特化した公共下水道の導入

- 汚水処理区域の見直しに伴い、下水道による汚水処理を行わないこととした地域において、雨水排除に特化した下水道整備を可能とするよう措置

4. 再生可能エネルギーの活用促進

- 下水道の暗渠内に民間事業者による熱交換器の設置を可能とする規制緩和を実施

SM計画に関連する事項 出典：国土交通省

図 2.2.6 平成27年下水道法等の改定概要の概要

7) 下水道ストックマネジメント支援制度

国土交通省においては、下水道法改正(平成27年11月施行)において、維持修繕基準を定め、腐食のおそれの大きい管渠の点検の方法・頻度については事業計画の記載事項とするなど、下水道施設の管理の強化に取り組んでいる。こうした中で、平成28年度より、現行の下水道長寿命化支援制度を発展させ、下水道施設全体の中長期的な施設の状態を予測しながら維持管理、改築を一体的に捉えて計画的・効率的に管理する「下水道ストックマネジメント計画」の策定、及び同計画に基づく点検・調査、改築を支援する「下水道ストックマネジメント支援制度」を創設した。これにより、下水道施設全体を一体的に捉えたストックマネジメント計画の策定とそれに基づく点検・調査、改築を支援し、施設全体の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図っている。「下水道ストックマネジメント支援制度」の支援対象は下記のとおりである。

①下水道ストックマネジメント計画の策定に要する費用

- ・下水道ストックマネジメント計画の策定及びその基となる地方公共団体独自の維持管理・改築に係る方針(ストックマネジメント実施方針)の検討。
- ・ストックマネジメント実施方針の検討に必要な施設の諸元及び既存点検・調査結果等のデータとりまとめ(電子化を含む)。

なお、計画策定については、計画策定そのものに要する費用だけではなく、計画策定のための点検・調査についても支援対象としている。

②同計画に基づく点検・調査に要する費用

- ・下水道ストックマネジメント計画「②施設の管理区分の設定」に位置付けられたもののうち、計画的な改築を行うにあたり劣化・損傷を把握するための点検・調査。

※交付対象施設は状態監視保全に位置付けたものに限る。

※処理場における日々の運転管理や管路施設の路面の状態を確認する巡視等は除く。

- ・交付対象管渠に接続した管渠で、当該管渠とほぼ同時期(概ね前後10年間)に整備された管路を含めて一体的に実施される点検・調査。

下水道長寿命化支援制度では、計画策定のために実施する点検・調査のみが支援対象であったが、「下水道ストックマネジメント支援制度」において下水道ストックマネジメント計画に位置付けられた、計画的な改築を行うにあたって劣化・損傷を把握するための点検・調査が支援対象に追加された。

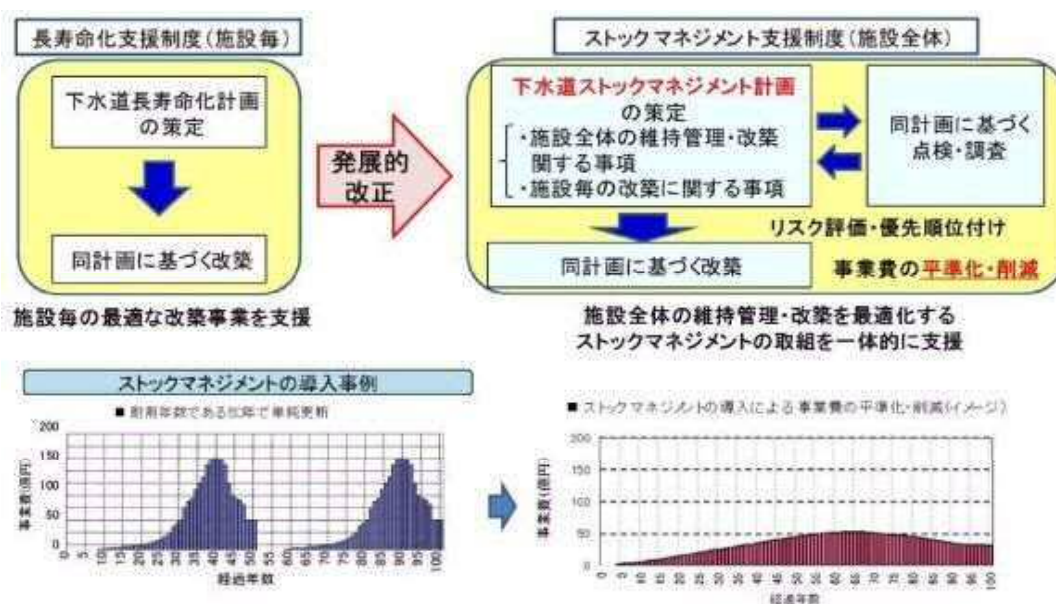
③同計画に基づく改築に要する費用

- ・下水道ストックマネジメント計画に位置付けられた長寿命化対策及び更新事業。

※事後保全対象施設については、改めて下水道ストックマネジメント計画の③改築実施計画に位置付ける

必要はない。

平成28年度より、施設の改築に対する交付は「下水道ストックマネジメント計画」に基づくものに限定することとする。ただし、平成28年度から5年間に限り、現行制度である「下水道長寿命化支援制度」に基づく交付を可能とする。（平成32年度まで）。なお、下水道長寿命化計画は、平成27年度以前から策定もしくは変更の作業に着手していたものに限り、平成29年度までに限り提出（変更計画の提出を含む。）を認めることとし、期間延伸のみの変更は、平成31年度までに限り変更計画の提出を認めている。



出典：平成29年3月下水道ストック マネジメント支援制度国土交通省 水管理・国土保全局下水道部

図 2.2.7 長寿命化支援制度とストックマネジメント支援制度の比較

(2) 大阪府の下水道

1) 市町村別の下水道普及率

本市の雨水・汚水整備区域普及率は78.5%であり、大阪府計と比較し、約18%低い状況にある。

表 2.2.1 大阪府の下水道普及率 (1/2)

都 市 名	行政区域		実排水区域(5年確率以上)				汚水整備区域				水洗化	
	面積A (ha)	人口 a (人)	面積X (ha)	X/A (%)	人口 x (人)	x/a (%)	面積Y (ha)	Y/A (%)	人口 y (人)	y/a (%)	人口 z (人)	z/y (%)
大阪市	22,496	2,692,747	19,052	84.7	2,692,734	99.9	19,052	84.7	2,692,734	99.9	2,692,678	99.9
豊中市	3,660	403,952	3,482	95.1	403,916	99.9	3,482	95.1	403,916	99.9	403,288	99.8
池田市	2,214	103,213	1,096	49.5	103,210	99.9	1,096	49.5	103,210	99.9	103,055	99.8
箕面市	4,790	136,938	1,820	38.0	136,938	99.9	1,766	36.9	136,938	99.9	136,853	99.9
能勢町	9,875	10,527	161	1.6	2,498	23.7	161	1.6	2,498	23.7	2,120	84.9
豊能町	3,437	20,325	476	13.8	20,147	99.1	476	13.8	20,147	99.1	19,998	99.3
茨木市	7,649	280,518	2,676	35.0	278,659	99.3	2,676	35.0	278,659	99.3	275,344	98.8
高槻市	10,531	353,822	3,361	31.9	352,409	99.6	3,219	30.6	352,276	99.6	343,039	97.4
吹田市	3,609	369,522	3,494	96.8	369,218	99.9	3,494	96.8	369,218	99.9	367,300	99.5
摂津市	1,487	85,290	1,128	75.9	84,514	99.1	1,118	75.2	84,474	99.0	80,679	95.5
島本町	1,681	30,620	301	17.9	29,184	95.3	301	17.9	29,184	95.3	28,792	98.7
枚方市	6,512	404,007	3,403	52.3	388,125	96.1	3,403	52.3	388,125	96.1	374,285	96.4
守口市	1,273	143,829	1,133	89.0	143,811	99.9	1,133	89.0	143,811	99.9	143,801	99.9
寝屋川市	2,473	236,758	2,087	84.4	236,112	99.7	2,084	84.3	236,112	99.7	231,626	98.1
大東市	1,827	122,227	1,198	65.6	120,784	98.8	1,198	65.6	120,784	98.8	117,365	97.2
門真市	1,229	124,299	1,031	83.9	110,588	89.0	1,031	83.9	110,588	89.0	109,854	99.3
四條畷市	1,869	55,937	653	34.9	55,768	99.7	653	34.9	55,768	99.7	55,052	98.7
交野市	2,555	77,913	1,680	65.8	112,621	99.9	896	35.1	74,053	95.0	72,857	98.4
東大阪市	6,178	493,186	5,089	82.4	492,171	99.8	5,087	82.3	492,000	99.8	472,042	95.9
八尾市	4,172	268,013	2,748	65.9	248,941	92.9	2,748	65.9	248,941	92.9	207,156	83.2
柏原市	2,533	70,452	665	26.3	61,385	87.1	665	26.3	60,408	85.7	54,119	89.6
松原市	1,667	121,125	1,063	63.8	120,125	99.2	971	58.2	117,699	97.2	106,338	90.3
富田林市	3,972	113,709	1,657	41.7	102,127	89.8	1,652	41.6	102,072	89.8	93,360	91.5
河内長野市	10,963	107,963	1,529	13.9	99,678	92.3	1,529	13.9	99,678	92.3	95,078	95.4
羽曳野市	2,645	113,152	1,014	38.3	96,766	85.5	988	37.4	94,686	83.7	80,428	84.9
藤井寺市	889	65,722	536	60.3	51,608	78.5	536	60.3	51,608	78.5	45,751	88.7
太子町	1,417	13,675	239	16.9	12,801	93.6	239	16.9	12,801	93.6	11,370	88.8
河南町	2,526	15,767	380	15.0	14,603	92.6	380	15.0	14,603	92.6	13,701	93.8
大阪狭山市	1,205	57,872	878	72.9	57,865	99.9	878	72.9	57,865	99.9	56,070	96.9
千早赤阪村	3,730	5,454	201	5.4	4,148	76.1	201	5.4	4,148	76.1	3,614	87.1
堺市	14,999	842,545	10,664	71.1	841,865	99.9	10,664	71.1	841,865	99.9	778,776	92.5
泉大津市	1,336	75,289	928	69.5	72,882	96.8	928	69.5	72,882	96.8	65,023	89.2
和泉市	8,498	186,370	2,184	25.7	163,434	87.7	2,174	25.6	163,118	87.5	144,548	88.6
高石市	1,135	58,022	591	52.1	52,746	90.9	591	52.1	52,746	90.9	48,695	92.3
忠岡町	397	17,306	288	72.5	16,865	97.5	279	70.3	16,782	97.0	14,672	87.4

出典：平成30年3月 平成28年度末大阪府下水道統計

表 2.2.1 大阪府の下水道普及率 (2/2)

都 市 名	行政区域		実排水区域(5年確率以上)				汚水整備区域				水洗化	
	面積A (ha)	人口 a (人)	面積X (ha)	X/A (%)	人口 x (人)	x/a (%)	面積Y (ha)	Y/A (%)	人口 y (人)	y/a (%)	人口 z (人)	z/y (%)
岸和田市	7,232	197,629	2,790	38.6	184,313	93.3	2,790	38.6	184,313	93.3	174,862	94.9
貝塚市	4,393	88,390	994	22.6	55,328	62.6	984	22.4	54,557	61.7	46,894	86.0
泉佐野市	5,651	100,767	919	16.3	42,296	42.0	857	15.2	38,346	38.1	34,416	89.8
泉南市	4,848	63,125	881	18.2	42,868	67.9	654	13.5	35,514	56.3	33,303	93.8
熊取町	1,724	43,949	579	33.6	35,012	79.7	579	33.6	35,012	79.7	32,706	93.4
川尻町	562	8,528	154	27.4	8,315	97.5	154	27.4	8,315	97.5	7,305	87.9
阪南市	3,617	55,580	585	16.2	29,985	53.9	544	15.0	28,083	50.5	24,710	88.0
岬町	4,923	16,254	424	8.6	12,296	75.6	424	8.6	12,296	75.6	10,053	81.8
府総計	190,379	8,852,307	86,212	45.3	8,561,659	96.7	84,735	44.5	8,502,833	96.1	8,212,976	96.6

出典：平成30年3月 平成28年度末大阪府下水道統計

2) 大阪府の重点施策

大阪府では「豊かできれいな下水道」、「雨に強いまちづくり」、「循環型社会の形成にむけて」、「暮らしを支える維持管理」を重点施策として掲げ、施策を行っている。

①豊かできれいな水環境

・高度処理の推進

河川や閉鎖性水域である大阪湾の更なる水質改善を図るため、水みらいセンターの高度処理化(窒素・リン除去)を進めています。

高度処理施設の整備状況(流域下水道)

処理レベル	急速ろ過	窒素・リン同時除去
高度処理率 [※]	66.5%	40.8%

※高度処理率=高度処理能力/処理能力

・合流式下水道改善の推進

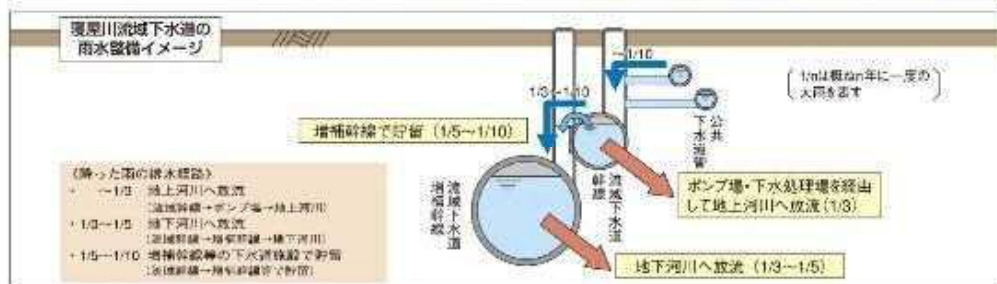
合流式下水道は汚水と雨水を同一の管渠で排除するため、河川に放流される雨水に汚水が混ざり、汚濁の一因となります。

雨天時に放流される汚濁負荷を削減するため、貯留施設や簡易処理施設の整備、ポンプ場沈砂池のドライ化などを進めています。



②雨に強いまちづくり

概ね10年に一度の確率で発生する大雨に対応した施設を整備し、雨に強いまちづくりを進めています。とりわけ寝屋川流域においては、河川と連携した総合治水計画に基づき、既存幹線の能力を補うための増補幹線の整備を進めています。



③循環型社会の形成に向けて

下水処理水や下水汚泥、処理場の空間など下水道資源の有効利用や再生可能エネルギーの普及を進めることにより、循環型社会の形成に寄与します。



図 2.2.8 大阪府の重点施策 (1/2)

④暮らしを支える維持管理

大阪府の流域下水道は昭和40年に事業着手し、老朽化した施設を多く保有しています。

暮らしを支える施設を一時も止めることがないよう、点検整備を充実させるとともに長寿命化計画の策定など、予防保全に努めています。

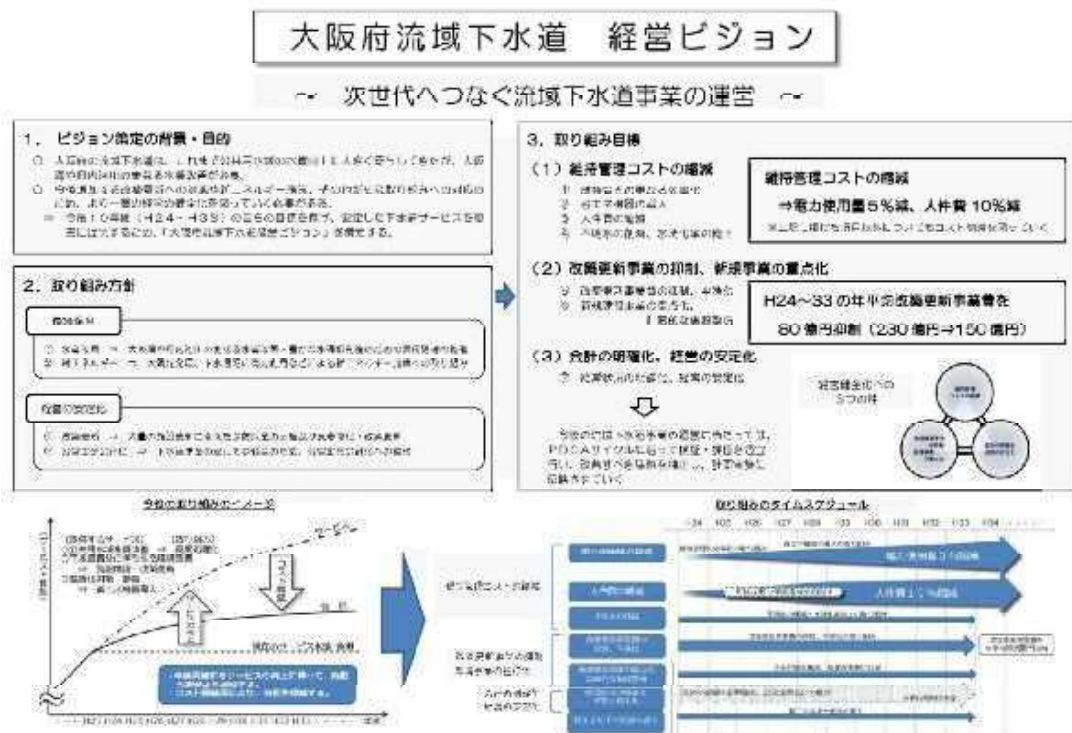


出典：平成26年4月 「大阪府の下水道」パンフレット

図2.2.8 大阪府の重点施策（2/2）

3) 大阪府流域下水道経営ビジョン

大阪府の流域下水道は、これまで公共用水域の水質向上に大きく寄与してきたが、大阪湾や府内河川の更なる水質改善が必要である。今後増加する改築更新への対応や新エネルギー施策、その他新たな取り組みへの対応のため、より一層の経営の健全化を図っていく必要がある。今後10年間（平成24～平成33）の自らの目標を掲げ、安定した下水道サービスを府民に提供するため、「大阪府流域下水道経営ビジョン」を策定している。



出典：平成24年3月 大阪府流域下水道経営ビジョン

図 2.2.9 大阪府流域下水道経営ビジョンの概要

表 2.2.2 大阪府流域下水道経営ビジョンの計画概要

項目	数値目標	目標年次	取組方針	具体的内容
① 維持管理の効率化	電力使用量の5%減 (維持管理の効率化2% 省エネ機器の導入2% その他1%)	H26	各処理場におけるコスト削減の取組を更に進め、各処理場での効率性の向上について実施計画を行い、実現可能なものから積極的に進めていく。	換気ファン、水中曝気機、汚泥ポンプの電気消費量など、多量消費品において効率性を検証し、H26に節電効果2%（H22比）の削減を目指す。
② 省エネ機器の導入		H33	ライフサイクルコストを考慮しつつ省エネ機器へ積極的に更新し、維持管理費の削減を図る。	汚泥濃縮機の50%、汚泥脱水機の30%を省エネ型機器に更新する。蒸留器を下げるために処理水への溶解剤の多い電気蒸気加熱器へ更新する。
③ 人件費の削減	人件費の10%減	H33	維持管理業務のさらなる外注化や、労務業務の効率化などにより、人件費の削減を図る。可能な限り早期達成を目指す。	現在、府職員が行っている維持管理に属する業務の外注化、発注業務を削減することなどによる効率化を図ることによって維持管理人員の削減を目指す。
④ 不明水の削減 水流化率の向上	改善目標は市町村と協議の上、個別に設定	H33	不明水の要因を特定し、市町村が主体となって、対策を実施していく。継続促進に関する課題を共有すること、効果のあった取組の情報を共有する。	不明水対策に関する府と市町村の協議の場を通じ、不明水の発生原因特定や防止に努め、不明水の削減に取り組む。
⑤ 改築更新事業費の抑制、 平準化	年平均改築更新事業費を230億円→150億円に抑制	H33	本格的な大規模更新時期を迎え、高齢化した処理場・ポンプ場設備について、さめぞろい予防保全により長寿命化を進め、改築更新事業費の抑制、平準化を図る。	水流化率の向上に向けて、現状分析の情報を共有する。
⑥ 新規建設事業の重点化 計画回数は当該計画	—	—	早期に効果を得るもの、安全・安心確保のための施設整備に重点化を図る。 また、社会経済情勢の変化に適切に対応して、施設整備を進める。	状態監視型全型の機器設備 ^{※1} について、健全度調査をもとに、事業費の平準化も考慮しつつ、可能な限り長寿命化を図る。
⑦ 経営状況の透明化 経営の改善	—	—	経営状況の公表を引き続き行う。 従来の定額更新費に追加するため汚水の従量料金使用面制を目標とともに、公営企業会計制度の導入を検討する。	経営状況（事業費収支、維持管理に関する業務指針、財務諸表）を公表する。 汚水の従量料金使用面制の導入に向けた協議を行う。
⑧ 新エネルギー施設 ^{※1} の導入	—	—	企業と連携して処理場のエネルギー効率化を目指す。 新エネルギー施設（太陽光発電、小水力発電等）を導入し、災害時に処理場の稼働力の確保を図る。さらに農家の防災施設等への新機向上に寄与する。	公営企業会計制度導入の検討を行う。 新エネルギー施設の導入に関して、未利用地の活用と、民間活力を活用し、事業スチームの検討を行う。 下水処理のエネルギー（消化ガス発電、固形燃料化等）の利用方法を検討する。
備 考			*1：状態監視保全：施設・設備の故障（劣化）を速く、※数値目標はH22実績比である（※を除く）。	

出典：平成24年3月 大阪府流域下水道経営ビジョン

(3) 藤井寺市

1) 第5次藤井寺市総合計画【平成28年6月策定】

本計画は、平成27年に定めた「藤井寺市総合計画策定条例」に基づき策定した本市のまちづくりの最上位計画である。基本構想は、平成28年度から平成35年度までの8年間であり、前期基本計画は、平成28年度から平成31年度までの4年間である。

6-2 下水道事業の推進

現況と課題

- 快適な生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る上で、公共下水道事業は非常に重要です。
- 本市では、公共下水道整備（污水）に努めていますが、整備済人口普及率は大阪府全体での普及率よりも下回っていることから、整備が急務であるとともに、今後は既設公共下水道施設の耐震化対策に取り組んでいく必要があります。
- 集中豪雨などの想定を超える降雨による浸水被害など市民生活への被害リスクが増大していることから、雨水幹線の整備や浸水対策についても課題となっています。
- 「下水道ストックマネジメント計画」の策定により、雨水ポンプ場及び公共下水道施設の計画的な改築等による老朽化対策に取り組んでいく必要があります。
- 公共下水道事業には多額の費用が必要となることから、事業の経営改善に向けて、効率的な管理体制の整備や事業経営に努める必要があります。

施策の基本方針

生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、公共下水道の整備や水洗化を促進するとともに、計画的で効率的な管理体制の整備と事業経営の推進に努めます。

主要施策

1 公共下水道の整備及び水洗化の普及促進

- 快適な生活環境の確保と河川等の水質保全を図るため、公共下水道の整備を促進します。
- 戸別訪問による水洗化の啓発及び促進に努め、水洗化率の向上を図ります。

2 雨水・浸水対策の充実

- 集中豪雨による浸水被害を解消するため、雨水ポンプ場及び雨水幹線の整備等を計画的に推進します。

3 適正で効率的な公共下水道事業の運営

- 公共下水道施設・設備の計画的、効率的な管理体制の強化を図ります。
- 地方公営企業会計への移行を進め、より適正で効率的な公共下水道事業を推進するため、経営の健全化に努めます。

協働の取組

- 下水道の必要性や重要性についての理解を促進し、効率的な公共下水道事業を実施するため、市民や団体等とのコミュニケーションの充実・強化に努めます。

出典：第5次藤井寺市総合計画

図 2.2.11 第5次藤井寺市総合計画における下水道の位置づけ（1/2）

まちづくり指標			
指標名	単位	現況値（平成27年度）	目標値（平成31年度）
下水道整備済人口普及率（人口普及率）	%	77.2 （平成27年度末）	81
供用開始区域水洗化人口普及率（水洗化率）	%	89.9 （平成27年度末）	90

関連する個別計画

- ・大阪湾流域別下水道整備総合計画
- ・藤井寺市流域関連下水道事業計画
- ・南部大阪都市計画
- ・社会資本総合整備計画（藤井寺市における水環境整備事業（その2））

出典：第5次藤井寺市総合計画

図2.2.11 第5次藤井寺市総合計画における下水道の位置づけ（2/2）

2) 藤井寺市公共施設等総合管理計画【平成28年3月】

①背景と目的

本市では、これまで人口の増加や市民ニーズに対応するため、昭和40年代から多くの公共施設等を整備してきた。しかし、人口減少、少子化・高齢化の進行による人口構造や市民ニーズの変化に伴い、公共施設等が担うべき役割・機能についても変化している。また、公共施設等の老朽化が進んでおり、今後一斉に大規模改修や建替えなど、施設の更新が必要な時期を迎えるが、厳しい財政状況にあるなど、公共施設等を取り巻く環境も変化しており、全ての施設を更新していくことは困難な状況である。

本市では、次の世代にこれらの問題を先送りして大きな負担を残さず、今後も市民ニーズに適切に対応して、安定した行政サービスを提供し、市民生活を向上させていくため、公共施設マネジメント（公共施設等を市の資産として捉え、経営的な視点から分析・検討することで最適化を図り、適正に維持管理していくための手法）に取り組んでいる。

本計画は、公共施設等を一元的に管理し、質・量両面から、公共施設マネジメントを推進していくための基本的な考え方や推進体制などを示している。

②下水道・雨水ポンプ場・防災ポンプ場について

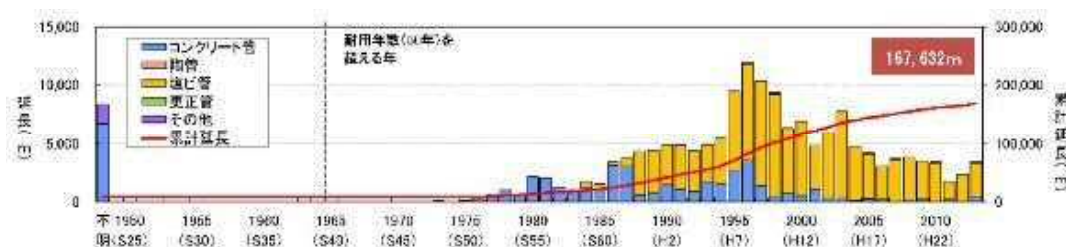
a) 下水道・雨水ポンプ場施設概要

表 2.2.3 下水道・雨水ポンプ場施設概要

分類	施設数等	備考
管路	延長 167,632 m	

分類	施設名	延床面積 (㎡)	建築年度	備考
雨水ポンプ場	小山水文ポンプ場	1,666	昭和63年度(1988)	
	北條雨水ポンプ場	1,364	平成11年度(1999)	

出典：藤井寺市公共施設等総合管理計画



出典：藤井寺市公共施設等総合管理計画

図 2.2.12 投資実績

③下水道・雨水ポンプ場 現況・課題

管路は、総延長 167,632m、下水道普及率 76.0%で現在も整備を進めており、今後も新規整備に多額の費用を要する。現在、耐用年数（50年）を経過している管路はないが、古いものは供用後まもなく30年となり、一般的に30年を経過するため、老朽化対策が課題となる。

雨水ポンプ場は、2カ所設置されており、共に耐用年数を超過した設備が多く存在し、特に小山雨水ポンプ場は老朽化が進んでいる。

④下水道・雨水ポンプ場 基本的な方向

管路は、計画的な新規整備を進めるとともに、現有施設の現状を調査し、長寿命化を含めた改修・更新を計画的に進める。また、耐震性を有していない管路については、計画的に耐震化を進める。

雨水ポンプ場は、施設の現状を調査し、適切な維持管理に努めるとともに、長寿命化を含めた改修・更新を計画的に進める。また、両ポンプ場ともに整備途上であり、管路整備に合わせて、施設・設備の増強等必要な性能を確保する。

⑤投資的経費の状況

投資的経費（普通会計及びインフラ施設）の状況をみると、平成21年度以降増加傾向にあり、平成25年度は約19.0億円、過去5年間の平均は約14.7億円となっている。特に公共施設に関する投資的経費が、増加傾向にあり、平成25年度は約6.0億円、過去5年間の平均は約3.4億円となっている。また、下水道に関しては平均7.2億円投資されている。



出典：藤井寺市公共施設等総合管理計画

図 2.2.13 投資的経費の状況

⑥中長期的な更新費用見込み

中長期的な更新費用の試算では、現状保有している公共施設等をすべて維持した場合、今後40年間で約1,092.6億円（公共施設 約561.5億円、インフラ施設 約531.2億円）、年平均で27.3億円（公共施設 約14.0億円、インフラ施設 約13.3億円）が必要になるとの結果になっている。過去5

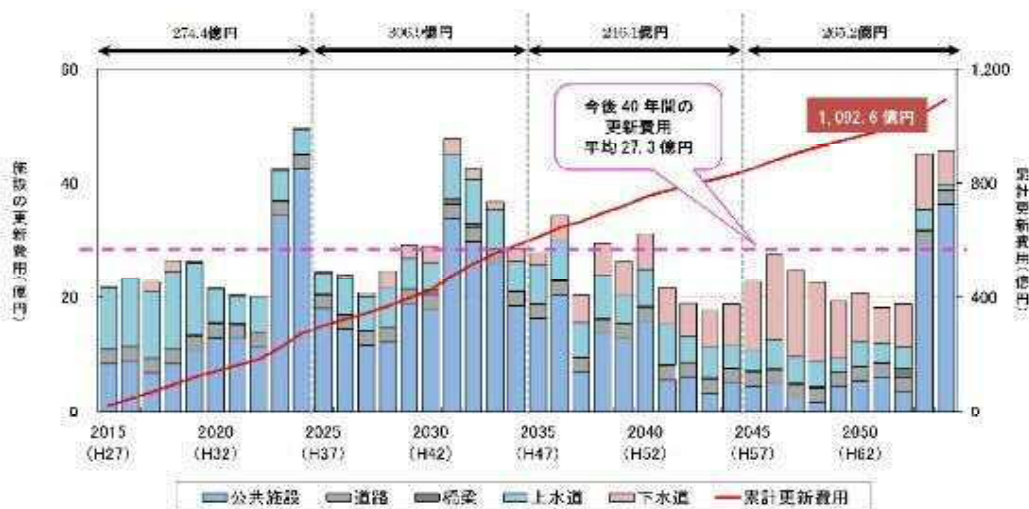
表 2.2.4 公共施設等の更新費用

	実績		試算			
	年平均投資的経費		累計更新費用		年平均更新費用	
	5年間 (H21~25)	3年間 (H23~25)	40年間	うち 30年間 (計画期間)	40年間	うち 30年間 (計画期間)
公共施設	3.44	4.82	561.46	463.35	14.04	15.45
道路	0.58	0.54	98.02	73.52	2.45	2.45
橋梁	0.01	0.02	9.58	6.43	0.24	0.21
上水道	3.37	3.60	241.66	206.13	6.04	6.87
下水道	7.29	7.30	181.90	78.04	4.55	2.60
合計	14.68	16.28	1092.63	827.46	27.32	27.58

単位:億円

出典：藤井寺市公共施設等総合管理計画

また、公共施設について、今後10年間（2015年～2024年）は多くの施設で大規模改修、11～20年目（2025年～2034年）は多くの施設で建替えの時期を迎えるため、将来の財政状況を考慮し、計画的に施設の更新を検討する必要がある。



図一 公共施設等の今後の更新費用

【試算方法】

現在と同じ面積（延長）で更新すると仮定し、総務省が公開する「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の試算条件・試算単価で40年間の更新費用を試算した。

- ・公共施設：30年目で大規模改修（改修期間2年（29、30年目）、積み残し期間10年）、60年目で建替え（建替え期間3年（59、60、61年目））とし、延床面積に試算単価を乗じて算出
- ・道路：総面積を更新年数15年で割った面積を1年間の更新量とし、更新量に試算単価を乗じて算出
- ・橋梁：60年目で更新とし、構造別面積に試算単価を乗じて算出（積み残し期間5年）
- ・上水道：40年目で更新とし、管径別延長に試算単価を乗じて算出（積み残し期間5年）
- ・下水道：50年目で更新とし、管径別延長に試算単価を乗じて算出（積み残し期間5年）

※改修しなければならない施設が、改修されずに残っている場合、積み残し期間で均等に改修を行うと仮定

※上水道、下水道の建築物は、公共施設と同様の試算条件で試算

※総務省の「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件としたため、公園は対象外とした。

出典：藤井寺市公共施設等総合管理計画

図 2.2.14 中長期的な更新費用見込み（1/2）



図ーインフラ施設の今後の更新費用

出典：藤井寺市公共施設等総合管理計画

図 2.2.14 中長期的な更新費用見込み（2/2）

3) 上位計画に関するまとめ

表 2.2.5 上位計画に関するまとめ

上位計画	本計画で考慮する事項
第5次藤井寺市総合計画	公共下水道の整備及び水洗化の普及促進
	雨水・浸水対策の充実
	下水道整備済人口普及率(人口普及率)77.2→81%
	供用開始区域水洗化人口普及率(水洗化率)89.9→90%
藤井寺市公共施設等総合管理計画	適正で効率的な公共下水道事業の運営
	雨水ポンプ場は、施設の現状を調査し、適切な維持管理に努めるとともに、長寿命化を含めた改修・更新を計画的に進める。 両ポンプ場ともに整備途上であり、管路整備に合わせて、施設・設備の増強等必要な性能を確保する。

2.3 関連計画に関する情報

2.3.1 事業計画

(1) 本市の下水道概要

本市の公共下水道は、単独公共下水道はなく、大阪府流域下水道の内、下記に示す 3 流域の流域関連公共下水道からなる。図 2.3.1.1 に各流域の位置関係を示す。

寝屋川南部流域関連公共下水道	(合流式、平成 4 年度着手)
大和川下流西部流域関連公共下水道	(分流式、平成 7 年度着手)
大和川下流東部流域関連公共下水道	(分流式、昭和 47 年度着手)

本計画の対象施設である、小山雨水ポンプ場、北條雨水ポンプ場はいずれも、大和川下流東部流域関連公共下水道にて位置付けられている。

第1表 予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書					
処理区域の面積	12.55 ヘクタール		処理区域内の地名	大阪府藤井寺市 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」	
処理分区の名称	面積 (単位：ヘクタール)	流域下水道との接続箇所の番号	流域下水域との接続箇所の位置	接続する流域下水道の幹線名	適用
1a	3.07	1a	藤井寺市 川北二丁目	飛行場南幹線	汚水量 0.0021 m ³ /s BOD 170mg/L S S 200mg/L
2a	2.47	2a	柏原市 本郷四丁目	飛行場南幹線	汚水量 0.0017 m ³ /s BOD 170mg/L S S 200mg/L
4a	0.15	4a	柏原市 本郷五丁目	飛行場南幹線	汚水量 0.0001 m ³ /s BOD 170mg/L S S 200mg/L
7a	0.98	7a	柏原市 本郷五丁目	飛行場南幹線	汚水量 0.0007 m ³ /s BOD 170mg/L S S 200mg/L
9a	1.48	9a	八尾市 西弓削三丁目	飛行場南幹線	汚水量 0.0010 m ³ /s BOD 170mg/L S S 200mg/L
13a	4.40	13a	八尾市 太田新町七丁目	飛行場南幹線	汚水量 0.0030 m ³ /s BOD 170mg/L S S 200mg/L

注：二段書きの場合、上段－変更前 下段－変更後
摘要欄の汚水量は計画時間最大汚水量を示す。

出典：平成 27 年度藤井寺市流域関連公共下水道事業計画藤井寺市寝屋川南部流域関連公共下水道変更協議申出書

2. 施設の機能の維持に関する方針（様式2）

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の計画
管渠施設	<p>法に定めのある腐食の恐れのある箇所（マンホールポンプの吐出し部とその下流概ね100m）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年に一度の点検 <p>管渠（ヒューム管）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね10年に一度の点検 <p>管渠（その他の材質）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね15年に一度の点検 <p>点検の結果、異常の可能性のある箇所についてはテレビカメラ等による調査を実施。</p>
雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	<p>月1回に点検を実施し、各施設の耐用年数を目途に調査を実施する。また、必要に応じ修繕・長寿命化対策を実施する。</p>

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	<p>少なくとも緊急度がⅠのものを修繕・改築の対象とする。</p>
雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	<p>少なくとも健全度が2以下のものを修繕・改築の対象とする。</p>

iii) 改築事業の概要（平成28年度～平成37年度）

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	<p>H28年度以降に策定予定のストックマネジメント計画を反映する。</p>
雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	<p>H28年度以降に策定予定のストックマネジメント計画を反映する。</p>

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し (年当たりの概ねの事業規模の試算)	試算の対象時期	試算の前提条件
*ストックマネジメント計画を策定後に記入	〃	〃

出典：平成27年度藤井寺市流域関連公共下水道事業計画藤井寺市寝屋川南部流域関連公共下水道変更協議申出書

第2章 施設情報の収集整理

第1表-1 予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書					
処理分区の面積	40.40ヘクタール	処理区域内の地名		大阪府藤井寺市 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」	
処理分区の名称	面積 (単位：ヘクタール)	流域下水道との接続 箇所の番号	流域下水道との 接続箇所の位置	接続する流域下 水道の幹線名	摘 要
1-22 分区	40.40	1-22	羽曳野市 島泉二丁目	今井戸 東除川幹線	

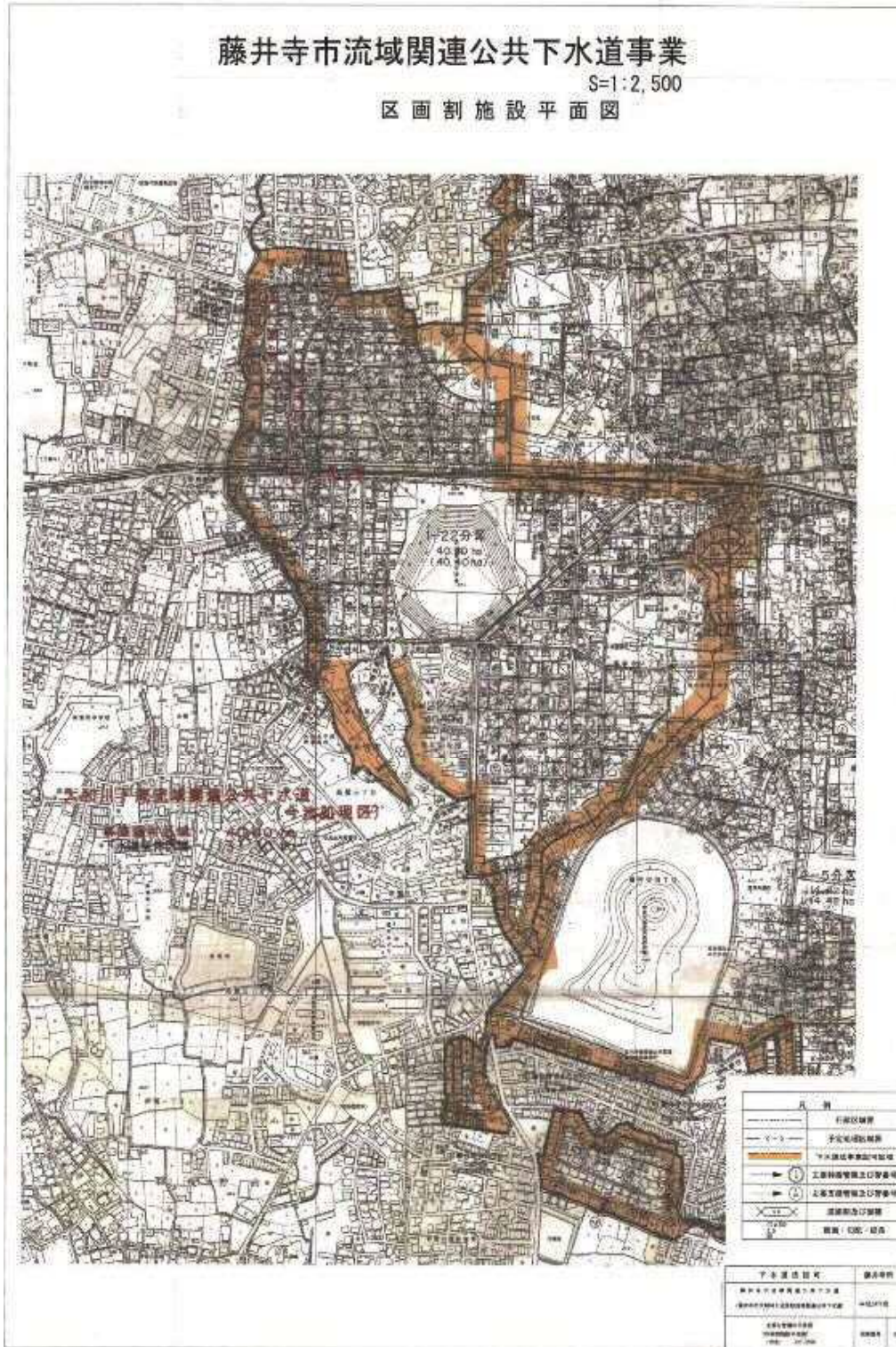
二段書きの場合、上段-変更前、下段-変更後
摘要欄の汚水量は、計画時間最大汚水量を示す。

第1表-2 予定排水区域及び放流箇所調書					
排水区域の面積	54.18ヘクタール	排水区域内の地名		大阪府藤井寺市 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」	
排水区 の 名 称	面積 (単位：ヘクタール)	放流箇所の 番 号	放流箇所の 位 置	接続する流域下 水道の幹線名	摘 要
春日丘排水区	54.18	1	小山三丁目	西水川	

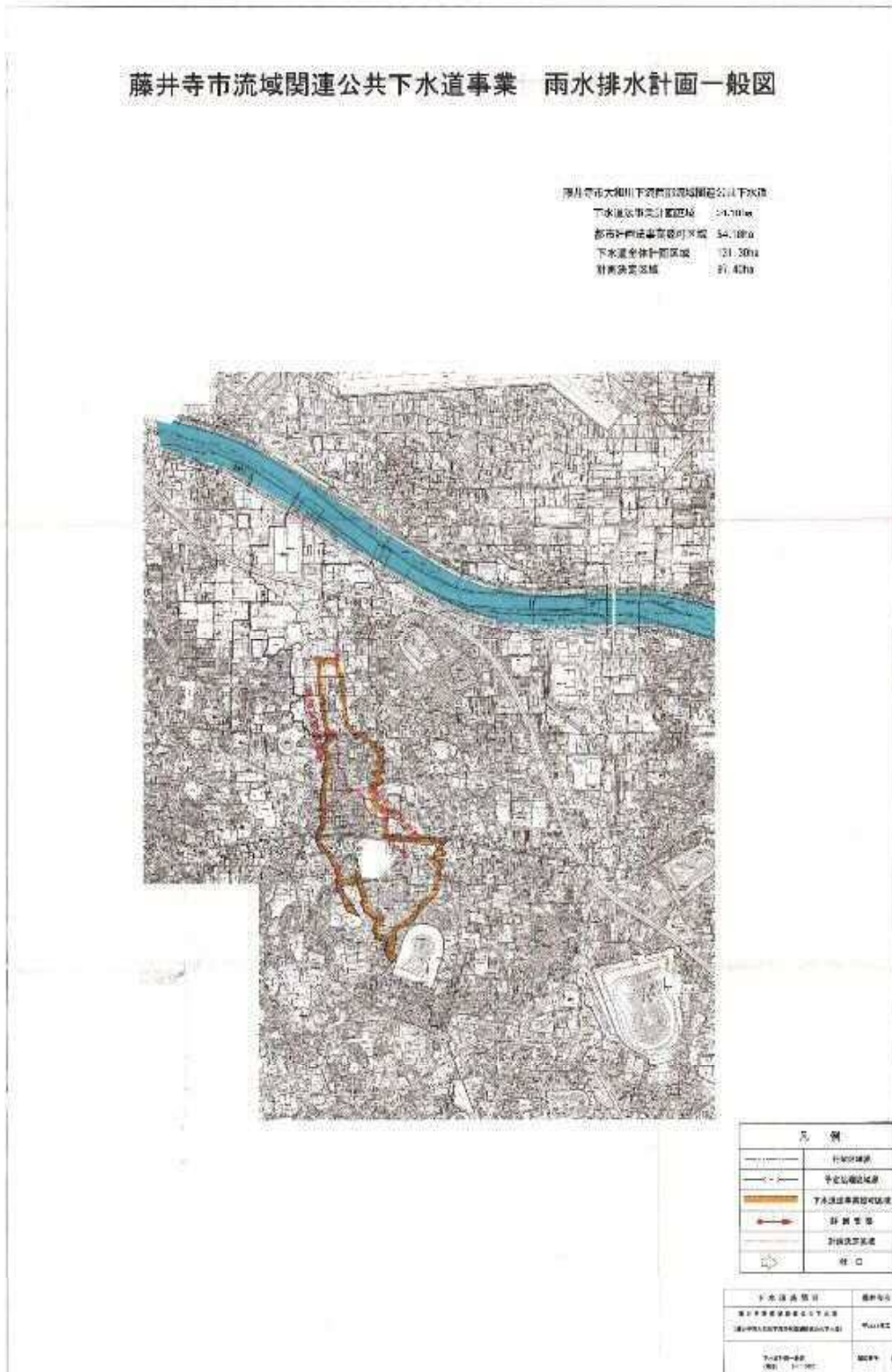
第2表 吐 口 調 書						
排水区 の 名 称	主要な吐口 の 種 類	主要な吐口 の 番 号 又 は 名 称	主要な吐口 の 位 置	計画放流量	放流先 の 名 称	摘 要
春日丘排水区	分流式 雨水管渠	1	小山三丁目	12,209 m ³ /秒	西水川	

第3表 管 渠 調 書 (汚 水)			
処理分区の名称	主要な管渠の内のり 寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	摘 要
1-22 分区	○450	70	
	○400	390	
計		460	

出典：平成24年度藤井寺市流域関連公共下水道事業計画藤井寺市大和川下流西部流域関連公共下水道変更協議申出書



出典：平成24年度藤井寺市流域関連公共下水道事業計画藤井寺市大和川下流西部流域関連公共下水道変更協議申出書



出典：平成 24 年度藤井寺市流域関連公共下水道事業計画藤井寺市大和川下流西部流域関連公共下水道変更協議申出書

第1表-1 予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書					
処理分区の面積	643.00ヘクタール		処理区域内の地名	大阪府藤井寺市 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」	
処理分区の名称	面積 (単位：ヘクタール)	流域下水道との接続箇所の番号	流域下水道との接続箇所の位置	接続する流域下水道の幹線名	摘要
1-1 分区	17.35	1-1	西大井一丁目	石川左岸幹線	
1-2 分区	2.05	1-2	大井二丁目	石川左岸幹線	
1-3 分区	18.44	1-3	大井二丁目	石川左岸幹線	
1-4 分区	6.75	1-4	大井三丁目	石川左岸幹線	
1-5 分区	9.94	1-5	大井三丁目	石川左岸幹線	
1-6 分区	37.71	1-6	大井三丁目	石川左岸幹線	
1-7 分区	13.37	1-7	惣社一丁目	石川左岸幹線	
1-8 分区	48.20	1-8	惣社一丁目	石川左岸幹線	

二段書きの場合、上段-変更前、下段-変更後

摘要欄の汚水量は、計画時間最大汚水量を示す。

出典：平成24年度藤井寺市流域関連公共下水道事業計画藤井寺市大和川下流東部流域関連公共下水道変更協議申出書

処理分区の 名 称	面積 (単位：ヘクタール)	流域下水道 との接続箇 所の番号	流域下水道と の接続箇所 の位置	接続する流域下 水道の幹線名	摘 要
1-11 分区	5.90	1-11	道明寺二丁目	石川左岸幹線	
1-12 分区	15.31	1-12	道明寺二丁目	石川左岸幹線	
1-19 分区	0.70	1-19	羽曳野市 白鳥二丁目	石川左岸幹線	
2-1 分区	2.60	2-1	大井一丁目	御陵西幹線	
2-2 分区	7.37	2-2	大井一丁目	御陵西幹線	
2-3 分区	111.06	2-3	林二丁目	御陵西幹線	
2-4 分区	6.67	2-4	林二丁目	御陵西幹線	
2-5 分区	114.42	2-5	沢田二丁目	御陵西幹線	
2-6 分区	16.86	2-6	沢田二丁目	御陵西幹線	

二段書きの場合、上段-変更前、下段-変更後

摘要欄の汚水量は、計画時間最大汚水量を示す。

出典：平成24年度藤井寺市流域関連公共下水道事業計画藤井寺市大和川下流東部流域関連公共下水道変更協議申出書

第2章 施設情報の収集整理

処理分区の 名 称	面積 (単位：ヘクタール)	流域下水道 との接続箇 所の番号	流域下水道と の接続箇所の 位置	接続する流域下 水道の幹線名	摘 要
2-7 分区	21.41	2-7	古室三丁目	御陵西幹線	
2-8 分区	30.32	2-8	古室二丁目	御陵西幹線	
2-9 分区	34.02	2-9	羽曳野市 誉田五丁目	御陵西幹線	
2-10 分区	18.80	2-10	羽曳野市 誉田五丁目	御陵西幹線	
2-11-1 分区	0.72	2-11-1	野中五丁目	御陵西幹線	
2-11-2 分区	16.84	2-11-2	野中五丁目	御陵西幹線	
2-11-3 分区	15.38	2-11-3	野中五丁目	御陵西幹線	
2-11-4 分区	1.97	2-11-4	野中五丁目	御陵西幹線	
3-1-1 分区	23.04	3-1-1	国府二丁目	石川右岸 1 幹線	
3-1-2 分区	45.80	3-1-2	国府二丁目	石川右岸 1 幹線	

二段書きの場合、上段-変更前、下段-変更後

摘要欄の汚水量は、計画時間最大汚水量を示す。

出典：平成 24 年度藤井寺市流域関連公共下水道事業計画藤井寺市大和川下流東部流域関連公共下水道変更協議申出書

第1表-2 予定排水区域及び放流箇所調書					
排水区域の面積	368.03ヘクタール		処理区域内の地名	大阪府藤井寺市 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」	
排水区の名 称	面積 (単位：ヘクタール)	放流箇所の 番 号	放流箇所の 位 置	接続する流域下 水道の幹線名	摘 要
北條第1排水区	104.84	1	北 條 町	大和川	
北條第2排水区	27.00	2	大井三丁目	落堀川	
小山排水区	185.99	3	小山七丁目	大和川	
古室第2排水区	6.70	4	古室二丁目	大水川	
藤井寺排水区	41.30	5	小山三丁目	(西水川)	今池処理区へ流入
道明寺排水区	2.20	6	羽 曳 野 市	(石川)	今池処理区へ流入

出典：平成24年度藤井寺市流域関連公共下水道事業計画藤井寺市大和川下流東部流域関連公共下水道変更協議申出書

第2表 吐 口 調 書						
排水区の名称	主要な吐口の種類	主要な吐口の番号 又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量	放流先の名 称	摘 要
北條第1排水区	ポンプ施設	1	藤井寺市 北條町	11.689 m ³ /秒	大和川	北條雨水ポンプ場
北條第2排水区	分流式 雨水管渠	2	藤井寺市 大井三丁目	3.383 m ³ /秒	落堀川	
小山排水区	ポンプ施設	3	藤井寺市 小山七丁目	14.1695 m ³ /秒	大和川	小山雨水ポンプ場
古室第2排水区	分流式 雨水管渠	4	藤井寺市 小室二丁目	0.9046 m ³ /秒	大水川	
藤井寺排水区	分流式 雨水管渠	5	藤井寺市 小山一丁目	(3.2063) m ³ /秒	(西水川)	今池処理区を經由
道明寺排水区	ポンプ施設	6	藤井寺市 道明寺四丁目	(0.3730) m ³ /秒	(石川)	羽曳野市流域関連 公共下水道を經由

出典：平成24年度藤井寺市流域関連公共下水道事業計画藤井寺市大和川下流東部流域関連公共下水道変更協議申出書

2.3.2 地震・津波対策計画

(1) 耐震診断の必要性

東海、東南海、南海地震をはじめとする大規模地震はいつ起きてもおかしくないとされており、地震発生を想定し被災時にも確保すべき機能及びその確保方策を念頭においた耐震化計画を策定する必要がある。

1) 建設省都市局下水道部〔下水道施設の耐震対策について〕の事務連絡

(平成10年3月24日)

“既存の下水道施設について震災後に施設の耐震診断を実施していない場合は、できるだけ速やかに耐震診断を実施すること”

〔下水道施設の耐震対策について〕の事務連絡；第1項

→『下水道事業の手引き』H28年版 P488

2) 具体策について

『下水道施設の耐震対策指針と解説』2014年版（日本下水道協会）が出版されており、既存処理場・ポンプ場施設の耐震対策として、耐震対策の目標・優先度、耐震診断、耐震対策について示されている。

3) 耐震基準について

①建築構造物について

建築基準法（施行令）では1981年（昭和56年）に構造基準が改正されている。これを新耐震基準といい、1981年6月1日以降に建築確認を受けた建物は全て新耐震基準が適用されている。

②土木構造物について

兵庫県南部地震による甚大な被害を受けて、1997年（平成9年）に「下水道施設の耐震対策指針と解説—1997年版—」より2段階の設計対象地震動が導入された。

(2) 耐震診断の状況

小山及び北條雨水ポンプ場の耐震性能及び耐震診断状況を下記の表に示す。

一部施設で耐震診断が実施されているが、診断未実施施設については早急に耐震診断が必要である。

ただし、耐震診断済の建築構造物は、 I_s 値（構造耐震指標）で診断され OK となっているが、「官庁施設の総合耐震診断・改修基準（平成 8 年度）」によると GIs 値（構造耐震指標）を用いて耐震性能を判断することとなっている。また日本下水道事業団及び日本下水道協会の各指針は、官庁施設の総合耐震診断・改修基準に基づいて耐震診断を行うこととなっている。

よって、小山雨水ポンプ場のポンプ棟の建築も GIs 値により再度耐震診断を行う必要がある。

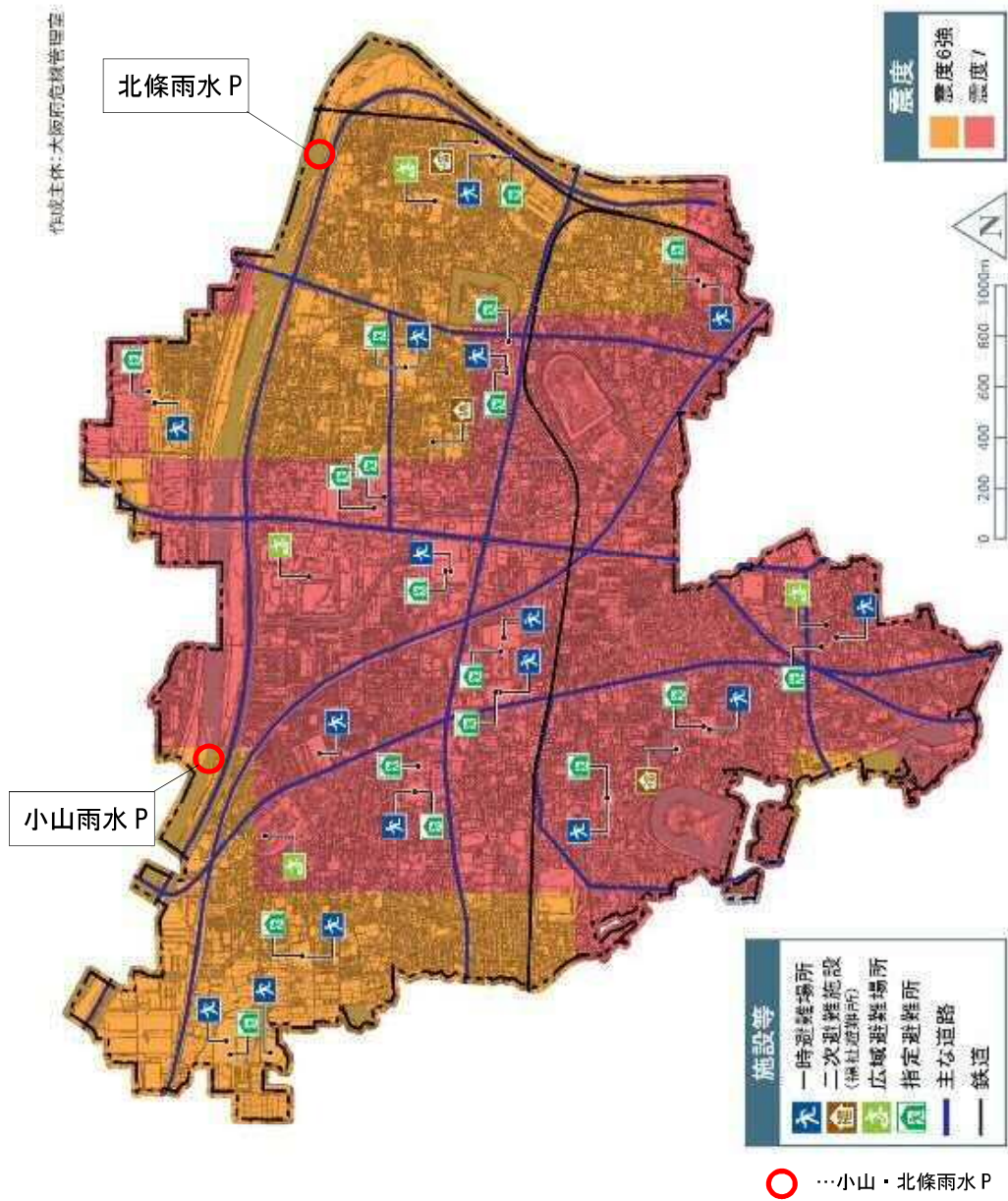
表 2.3.2.1 耐震診断・補強工事実施状況

施設名称	構造分類	構造種別		延床面積 ㎡	設計年度	建設期間	耐震診断 実施状況	耐震診断結果		耐震補強の 実施状況	アスベスト含有率分析 調査実施状況	備考
		地下	地上					土木	建築			
小山雨水ポンプ場	流入渠	II類	—	4.0×2.6m	1982 (昭和57年度)	1986 (昭和61年度)	未実施	未実施	—	未実施	—	未耐震化施設
	沈砂池	I-1類	—	42.5×22.5m	1982 (昭和57年度)	1986 (昭和61年度)	実施済	要耐震補強	—	未実施	—	未耐震化施設
	ポンプ棟	IV-2類	1階	1,665.53	1982 (昭和57年度)	1986 (昭和61年度)	実施済	要耐震補強	耐震化施設 ※	未実施	未実施	未耐震化施設
	吐出槽	I-1類	—	4.0~11.0×30.0m	1982 (昭和57年度)	1986 (昭和61年度)	未実施	未実施	—	未実施	—	未耐震化施設
	放流渠	II類	—	3.6×2.0m×2連	1986 (昭和61年度)	1987 (昭和62年度)	未実施	未実施	—	未実施	—	未耐震化施設
	吐口	II類	—	3.6×2.0m×2連	1986 (昭和61年度)	1987 (昭和62年度)	未実施	未実施	—	未実施	—	未耐震化施設
	流入渠	II類	—	2.2×2.2m	1995 (平成7年度)	1996 (平成8年度)	未実施	未実施	—	未実施	—	未耐震化施設
北條雨水ポンプ場	沈砂池(スクリーン水路)	I-1類	—	31.5×19.5m	1995 (平成7年度)	1996 (平成8年度)	未実施	未実施	—	未実施	—	未耐震化施設
	ポンプ棟	IV-2類	1階	1,363.64	1995 (平成7年度)	1996 (平成8年度)	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未耐震化施設
	放流渠	II類	—	2.5×2.5m	1995 (平成7年度)	1996 (平成8年度)	未実施	未実施	—	未実施	—	未耐震化施設
	吐口	II類	—	2.5×2.5m	1995 (平成7年度)	1997 (平成9年度)	未実施	未実施	—	未実施	—	未耐震化施設
	吐口	II類	—	2.5×2.5m	1995 (平成7年度)	1997 (平成9年度)	未実施	未実施	—	未実施	—	未耐震化施設

注)1:土木構造物は、平成10年度以降に設計された構造物は耐震化施設と判定した。
 注)2:建築構造物は、平成8年10月以降に設計された構造物は重要度係数も見込まれており、耐震化施設と判定した。
 ※ 耐震診断済の建築構造物は、Is値(構造耐震指標)で診断され耐震化施設となっているが、GIS値(構造耐震指標)を用いて耐震性能を判断することとなっているため山雨水ポンプ場のポンプ棟の建築もGIS値により再度耐震診断を行う必要がある。

(3) 震度分布

下記に震度マップを下図に示す。

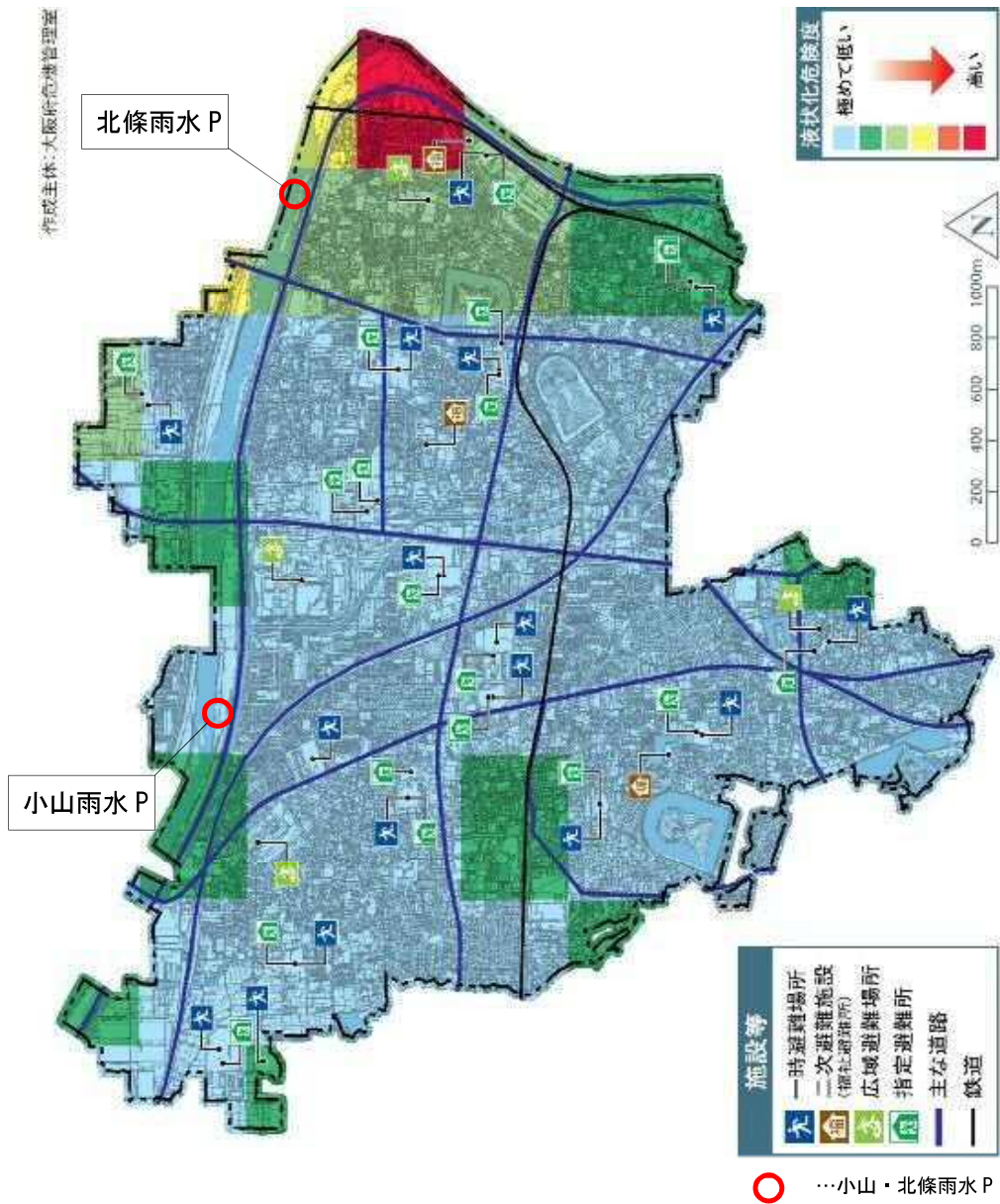


出典：藤井寺市防災ガイドマップ

図 2.3.2.1 震度分布

(4) 液状化可能性

大阪府の液状化可能性を下図に示す。



出典：藤井寺市防災ガイドマップ

図 2.3.2.2 液状化可能性

2.3.3 藤井寺市下水道事業 業務継続計画（簡易な下水道BCP作成例〈本庁編〉）

1) 基本方針

①市民、職員、関係者の安全確保

災害発生時の業務の継続・早期復旧にあたっては、市民、職員、関係者の安全確保を第一優先とする。

②下水道事業の責務遂行

市民生活や地域経済活動のために必要となる下水道が果たすべき重要な機能を優先的に回復する。

③対象事象

大規模地震対象リスクとして策定する。

2) 災害発生時の業務継続戦略 総括表

表 2.3.3.1 藤井寺市の下水道 BCP

事項	説明	明
対象災害と発動基準	1. 震度4以上の地震が藤井寺市内で観測されれば、もしくは津波警報が発令された場合には自動的に対象メンバー（全職員）は自動参集し、初動対応を開始する。	対応の目標時間（※）
対応体制	<ul style="list-style-type: none"> 下水道対策本部を設け、本部長は下水道総務課長、副本部長は下水道工務課長とする。 班編成：総務班、情報管理班、情報収集班を置く。 緊急参集メンバーは、全部で15名。 都市整備部下水道総務課内に下水道対策本部を置く。 	
対応拠点	優先実施業務	
主な優先実施業務、その対応の目標時間、業務継続戦略の概要	1. 下水道対策本部の立上げ	業務時間内の本部立上げは発災直後とする。
	2. 職員等の安否確認	業務時間内の場合は、本部立上げ直後とする。
	3. ポンプ場との連絡調整	業務時間内の場合は3時間後までに完了。
	4. 関連行政部局及び民間企業等との連絡調整	業務時間内の場合は12時間後までに完了。
	5. 緊急点検	2日後までに完了。
	6. 情報発信（第1報）	業務時間内の場合は3時間後までに完了。
	7. 支援要請	

（※）：勤務時間内と夜間休日では「対応の目標時間」が異なる場合は、両方記載します。

3) 被害想定

項目	被害想定
下水道施設 小山 雨水ポンプ場	管理棟は新耐震基準を満足しているため、利用可能。一方、土木構造物は12地震動に対応しておらず、ポンプ施設の運転停止が予想される。また、自家発電設備は連続運転した場合、約2日までの停電に対応出来る。
北條 雨水ポンプ場	土木構造物及び建築構造物の耐震診断は、未実施であるが、管理棟は新耐震基準を満足しているため、利用可能と考えられる。また、自家発電設備は連続運転した場合、約1日までの停電に対応出来る。

・雨水ポンプ場における簡易的な被害想定

- 地震動による被害については、未耐震化の下水道施設はすべて機能停止するものと想定する。
- 津波による浸水被害については、対象外のため想定しない。

2.3.4 ECO2プランふじいでら 藤井寺市地球温暖化対策推進実行計画（平成13年3月）

本計画は地球温暖化の進行している現状と、それに対する国や地域での取組を背景に、市が自ら実行できる行動について目標をもって実行するものである。ここでは、計画の背景と計画の目的や対象等の基本的な事項をとりまとめた。

本計画の目標は、次のとおりである。

●エネルギー等の使用量削減に関する目標●

項目	平成17年度（2005年度）における目標
電 気	平成10年度（1998年度）に対し約5%削減する。
都市ガス	平成10年度（1998年度）に対し約5%削減する。
A重油	平成10年度（1998年度）に対し約4%削減する。
その他燃料	極力削減に努める。
公用車の使用	平成10年度（1998年度）に対し、燃料使用量及び走行距離を約10%削減する。
笑気ガス（麻酔剤）	極力削減に努める。

- 省資源等に関する目標●**
- ★水道使用量の節減
水道水の使用量を、平成17年度（2005年度）において、平成10年度（1998年度）から5%削減する。
 - ★紙類使用量の節減
紙類使用量を、平成17年度（2005年度）において、平成10年度（1998年度）から5%削減する。
 - ★環境に配慮した製品の積極的選択（グリーン購入）
 - ・ 購入物品中、環境に配慮した製品の購入量を向上させる。
 - ・ コピー用紙におけるバージンパルプ使用量を削減する。
 - ・ コピー用紙の白色度を70%以下にする。
 - ・ 市の発注する印刷物の用紙については、全て再生紙を使用するとともにその表示を行う。



出典：ECO2プランふじいでら 藤井寺市地球温暖化対策推進実行計画

図 2.3.4.1 藤井寺市地球温暖化対策推進実行計画概要

2.4 諸元に関する情報

2.4.1 施設情報の電子化状況

(1) 平成26・27年度下水道施設の資産調査・評価業務

本市では平成26・27年度に企業会計移行に向け、資産評価業務を行っている。

1) 固定資産の管理単位

本市の資産評価業務における「固定資産の管理単位」は下記のとおりであり、標準整理手法で行っている。

表 2.4.1.1 資産評価業務における資産単位

標準整理手法における資産整理単位			
固定資産科目	施設分類	資産整理単位	
管渠(構築物)	管渠、人孔、樹※1	工事単位	
ポンプ場	建物	建築構造物	棟単位
		建築機械設備	同上
		建築電気設備	同上
	構築物	土木構築物	主要施設単位
		場内整備施設	主要施設単位
	機械及び装置	機械設備	主要機器単位(ポンプ、ゲート等改築更新の取替単位)
電気設備		主要機器単位(操作盤、発電機等改修更新の取替単位)	
その他資産	土地	筆単位	
	備品	資産性備品 単体で10万以上のもの	
	無形固定資産	施設利用権 流域下水道建設負担金等	

※1 管渠、人孔、樹については、耐用年数が同一であるため、一体的に管理を行う。

 …本計画の対象

出典：平成26・27年度下水道施設の資産調査・評価業務

(2) 本計画における適用

1) 資産整理方法

①固定資産台帳から資産リストを抽出

固定資産台帳のうち、工事台帳及び資産台帳からポンプ場に関する必要な情報を抽出し、資産リストを作成する。

②資産リストを完成図書で確認

完成図書と照らし合わせ、不足している資産はないか、ストックマネジメントで使用する資産計上方法はと差異はないか確認をする。同時に、資産リストの情報で下記の情報のうち不足しているものがないか確認する。不足している場合は完成図書に記載がある範囲で補完する。

③不足情報の整理・収集・補完

不足している情報を整理し、収集の必要な図書を収集する。収集した資料から不足情報を補完する。

④現場で資産の有無を確認

①～③で作成した資産リストを基に現場で資産の有無を確認する。その際に目視でわかる不具合（錆、腐食等）があった土木・建築資産は、資産リストにおいて小分類で整理を行う。

2) 固定資産評価業務からの資産計上方法の変更

本計画は、過年度に行われた「資産評価業務」のデータを有効に活用し、資産計上方法及び名称の変更を行い、資産リストを作成する。

①資産計上方法の変更

資産計上方法は、土木施設は施設 1 式及び主要施設単位、建築施設は棟単位で資産計上を行っており、本計画では中分類単位で再度整理を行う。

機械・電気設備は主要機器単位で整理されているが、更新単位と一部異なる箇所があるため、必要なデータの追加、変更を行い、資産リストの整理を行う。

表 2.4.1.2 資産計上方法の変更内容

工 種	資産計上方法の変更内容		備 考
	固定資産評価業務	本計画	
土木	施設 1 式及び主要施設単位	中分類単位	
建築・建築設備	棟単位	〃	
機械・電気設備	主要機器単位	主要機器単位 (更新単位に合わせて変更※)	

※詳細は後述する。

②資産名の変更

資産名については、機場名を追加し、具体的な用途に変更する。また、中分類で整理した資産については次回計画時に見直し可能なように「中分類」を明記する。

3) 資産計上方法の変更例

① 土木・建築・建築設備の資産計上変更例

土木・建築・建築設備の小山雨水ポンプ場における資産計上変更は下記のとおりである。

表 2.4.1.3 土木建築資産の変更例（小山雨水P）

資産評価時資産名称	本計画での資産計上
流入渠	小山雨水P 躯体 遮断ゲート 中分類
	小山雨水P 付帯設備 遮断ゲート 中分類
	小山雨水P 躯体 流入渠 中分類
	小山雨水P 付帯設備 流入渠 中分類
	小山雨水P 金属物 流入渠 中分類
沈砂池	小山雨水P 躯体 沈砂池 中分類
	小山雨水P 付帯設備 沈砂池 中分類
	小山雨水P 金属物 沈砂池 中分類
	小山雨水P 躯体 ポッパ基礎 中分類
	小山雨水P 躯体 沈砂池水切槽 中分類
	小山雨水P 付帯設備 沈砂池水切槽 中分類
ポンプ井	小山雨水P 躯体 ホンブ棟(下部) 中分類
	小山雨水P 付帯設備 ホンブ棟(下部) 中分類
	小山雨水P 金属物 ホンブ棟(下部) 中分類
	小山雨水P 躯体 重油タンク 中分類
調圧水槽	小山雨水P 躯体 調圧水槽 中分類
	小山雨水P 付帯設備 調圧水槽 中分類
放流渠(落掘川部分)	小山雨水P 躯体 放流渠 中分類
	小山雨水P 躯体 吐口・樋門 中分類
小山柏ヶ花樋門躯体	小山雨水P 躯体 大水川放水路 中分類
	小山雨水P 付帯設備 場内 中分類
場内整備	小山雨水P 場内道路 中分類
	小山雨水P 場内施設 門柵 中分類
	小山雨水P 場内施設 排水施設 中分類
	小山雨水P 場内施設 外灯 中分類
ポンプ場建屋	小山雨水P 躯体 ホンブ棟(上部) 中分類
	小山雨水P 仕上げ ホンブ棟 中分類
	小山雨水P 金属物 ホンブ棟 中分類
	小山雨水P 防水 ホンブ棟 中分類
	小山雨水P 建具 ホンブ棟 中分類
	小山雨水P 躯体 樋門上屋 中分類
	小山雨水P 仕上げ 樋門上屋 中分類
	小山雨水P 建具 樋門上屋 中分類
	小山雨水P 仕上げ 調圧水槽 中分類

表 2.4.1.4 建築設備資産の変更例（小山雨水P）

資産評価時資産名称	本業務での資産計上
操作室エアコン(AC-1)	小山雨水P_空調・換気設備_ホンプ棟_中分類
エアコン(AC-2)	
ポンプ室給気ファン(F-1)	
ポンプ室給気ファン2(F-1)	
発電機室排気ファン(F-5)	
ポンプ室排気ファン1(F-3)	
ポンプ室排気ファン2(F-3)	
発電機室給気ファン(F-4)	
電機室排気ファン(F-7)	
電機室給気ファン(F-6)	
ポンプ室ブースターファン(F-2)	
発電機室排気ファン(F-8)	
換気ファン	
ロスナイ(F-9)	
天井扇(F-10)	
天井扇(F-11)	
空気清浄装置(RF-1)	
衛生器具	小山雨水P_給排水・衛生・ガス設備_ホンプ棟_中分類
給水設備	
給湯器	
排水設備	
消防設備	
ガス設備	
電灯分電盤(L-3)	小山雨水P_電気設備_ホンプ棟_中分類
照明設備	
現場制御盤(P-2-1)	
現場制御盤(P-2-2)	
現場制御盤(P-3-1)	
避雷設備	小山雨水P_消火災害防止設備_ホンプ棟_中分類
受信機	
副受信機	小山雨水P_電気設備_場内_中分類
感知器	
総合盤	
総合盤	
総合盤	
総合盤	
—	小山雨水P_電気設備_場内_中分類
—	小山雨水P_電気設備_樋門上屋_中分類

②機械設備

機械設備の小山雨水ポンプ場における資産計上変更は下記のとおりである。

表 2.4.1.5 機械資産の変更例（小山雨水P）1/2

資産評価時資産名称	本計画での資産計上
高段主流入ゲート	小山雨水P 高段主流入ゲート
No.1高段流入ゲート	小山雨水P No.1高段流入ゲート
No.2高段流入ゲート	小山雨水P No.2高段流入ゲート
No.3高段流入ゲート	小山雨水P No.3高段流入ゲート
No.4高段流入ゲート	小山雨水P No.4高段流入ゲート
高段粗目除塵機	小山雨水P 高段粗目除塵機
No.1高段細目自動除塵機	小山雨水P No.1高段細目自動除塵機
No.2高段細目自動除塵機	小山雨水P No.2高段細目自動除塵機
No.3高段細目自動除塵機	小山雨水P No.3高段細目自動除塵機
No.1し渣搬出機	小山雨水P No.1し渣搬出機
No.2し渣搬出機	小山雨水P No.2し渣搬出機
No.3し渣搬出機	小山雨水P No.3し渣搬出機
し渣スキップホイスト	小山雨水P し渣スキップホイスト
篩渣貯留ホッパ	小山雨水P し渣貯留ホッパ
沈砂池排水ポンプ	小山雨水P 沈砂池排水ポンプ
排水ポンプ吊上装置	小山雨水P 排水ポンプ吊上装置
遮断ゲート	小山雨水P 遮断ゲート
Mo.1調圧水槽流出ゲート	小山雨水P Mo.1調圧水槽流出ゲート
No.2調圧水槽流出ゲート	小山雨水P No.2調圧水槽流出ゲート
角落し吊上装置	小山雨水P 角落し吊上装置
No.1吊上装置	小山雨水P No.1吊上装置
No.2吊上装置	小山雨水P No.2吊上装置
1号雨水ポンプ	小山雨水P 1号雨水ポンプ
2号雨水ポンプ	小山雨水P 2号雨水ポンプ
3号雨水ポンプ	小山雨水P 3号雨水ポンプ
1号原動機	小山雨水P 1号電動機
2号減速機	小山雨水P 2号減速機
3号減速機	小山雨水P 3号減速機
2号原動機	小山雨水P 2号原動機
3号原動機	小山雨水P 3号原動機
1号吐出弁	小山雨水P 1号吐出弁
2号吐出弁	小山雨水P 2号吐出弁
3号吐出弁	小山雨水P 3号吐出弁
1号逆流防止弁	小山雨水P 1号逆流防止弁
2号逆流防止弁	小山雨水P 2号逆流防止弁
3号逆流防止弁	小山雨水P 3号逆流防止弁
No.1空気圧縮機	小山雨水P No.1空気圧縮機
No.2空気圧縮機	小山雨水P No.2空気圧縮機

表 2.4.1.5 機械資産の変更例（小山雨水P）2/2

資産評価時資産名称	本計画での資産計上
予備空気槽	除却済のため計上なし
2号主ポンプ用空気槽	小山雨水P 2号主ポンプ用空気槽No.1 小山雨水P 2号主ポンプ用空気槽No.2
3号主ポンプ用空気槽	小山雨水P 3号主ポンプ用空気槽No.1 小山雨水P 3号主ポンプ用空気槽No.2
地下重油貯蔵タンク	小山雨水P No.1地下重油貯蔵タンク
地下重油貯蔵タンク	小山雨水P No.2地下重油貯蔵タンク
燃料小出槽	小山雨水P 燃料小出槽
No.1燃料移送ポンプ	小山雨水P No.1燃料移送ポンプ
No.2燃料移送ポンプ	小山雨水P No.2燃料移送ポンプ
No.1号雨水冷却水ポンプ	小山雨水P No.1号雨水冷却水ポンプ
No.2号雨水冷却水ポンプ	小山雨水P No.2号雨水冷却水ポンプ
No.3号雨水冷却水ポンプ	小山雨水P No.3号雨水冷却水ポンプ
高架水槽	小山雨水P 高架水槽
No.1号高架水槽揚水ポンプ	小山雨水P No.1号高架水槽揚水ポンプ
No.2号高架水槽揚水ポンプ	小山雨水P No.2号高架水槽揚水ポンプ
No.2号機用一次排気消音器	小山雨水P No.2号機用一次排気消音器
No.2号機用二次排気消音器	小山雨水P No.2号機用二次排気消音器
No.3号機用一次排気消音器	小山雨水P No.3号機用一次排気消音器
No.3号機用二次排気消音器	小山雨水P No.3号機用二次排気消音器
ポンプ井排水ポンプ	小山雨水P ポンプ井排水ポンプ
床排水ポンプ	小山雨水P 床排水ポンプ
天井クレーン	小山雨水P 天井クレーン
—	小山雨水P 小山柏ヶ花樋門No.1放流渠口ゲート
—	小山雨水P 小山柏ヶ花樋門No.2放流渠口ゲート

③電気設備

電気設備の小山雨水ポンプ場における資産計上変更は下記のとおりである。なお、電気設備は、資産の特定が行えるよう、ロケーション番号は現場に合わせ変更する。

表 2.4.1.6 電気資産の変更例（小山雨水P）1/2

資産評価時資産名称	本計画での資産計上
—	小山雨水P 柱上気中開閉器 PAS
引込盤(HC-1)	小山雨水P 引込盤 MH1
受電盤(HC-2)	小山雨水P 受電盤 MH2
動力変圧器盤(TC-1)	小山雨水P 動力変圧器盤 LH1
買電・自家発切替盤(LB-1)	小山雨水P 買電・自家発切替盤 LH2
動力ファイダ盤(LB-2)	小山雨水P 動力ファイダ盤 LH3
照明変圧器盤(TC-2)	小山雨水P 照明変圧器盤 LH4
建築動力変圧器盤(TC-3)	小山雨水P 建築動力変圧器盤 LH5
監視制御装置用分電盤(DB-H1)	小山雨水P 北條ポンプ場監視制御装置用分電盤 DB-K1
直流電源盤(DCB-1)	小山雨水P 直流電源盤 VR1
交流無停電電源装置	小山雨水P 交流無停電電源装置
—	小山雨水P UPS TM-KA-1.2
発電機盤(LB-4)	小山雨水P 発電機盤 G1
自動始動盤(LB-5)	小山雨水P 自動始動盤 G2
自家発電機	小山雨水P 自家発電機
1次排気消音器	小山雨水P 排気消音器
減圧水槽	小山雨水P 減圧水槽
—	小山雨水P 1号空気槽
—	小山雨水P 2号空気槽
No.3燃料移送ポンプ(自家発電機用)	小山雨水P No.3燃料移送ポンプ(自家発電機用)
燃料小出槽	小山雨水P 燃料小出槽
沈砂池設備コントロールセンタ(1)(CC-1)	小山雨水P 沈砂池設備コントロールセンタ(1) CK1
沈砂池設備コントロールセンタ(2)(CC-1)	小山雨水P 沈砂池設備コントロールセンタ(2) CK2
沈砂池設備コントロールセンタ(3)(CC-1)	小山雨水P 沈砂池設備コントロールセンタ(3) CK3
沈砂池設備コントロールセンタ(4)(CC-1)	小山雨水P 沈砂池設備コントロールセンタ(4) CK4
沈砂池補助継電器盤(1)(RY-1)	小山雨水P 沈砂池補助継電器盤(1) RK1
沈砂池補助継電器盤(2)(RY-1)	小山雨水P 沈砂池補助継電器盤(2) RK2
雨水ポンプ補機設備コントロールセンタ(1)(CC-2)	小山雨水P 雨水ポンプ補機設備コントロールセンタ(1) CL1
雨水ポンプ補機設備コントロールセンタ(2)(CC-2)	小山雨水P 雨水ポンプ補機設備コントロールセンタ(2) CL2
雨水ポンプ補機設備コントロールセンタ(3)(CC-2)	小山雨水P 雨水ポンプ補機設備コントロールセンタ(3) CL3
雨水ポンプ補機設備コントロールセンタ(4)(CC-2)	小山雨水P 雨水ポンプ補機設備コントロールセンタ(4) CL4
雨水ポンプ補機補助継電器盤(1)(RY-2)	小山雨水P 雨水ポンプ補機補助継電器盤(1) RL1
雨水ポンプ補機補助継電器盤(2)(RY-2)	小山雨水P 雨水ポンプ補機補助継電器盤(2) RL2
雨水ポンプ補機補助継電器盤(3)(RY-2)	小山雨水P 雨水ポンプ補機補助継電器盤(3) RL3
1号雨水ポンプ盤(LB-3)	小山雨水P 1号雨水ポンプ盤 LM1
大水川系流入渠水位計	小山雨水P 大水川系流入渠水位計
落堀川水位計	小山雨水P 落堀川水位計
ポンプ井水位計	小山雨水P ポンプ井水位計 フロート式
ポンプ井水位計	小山雨水P ポンプ井水位計 投込式
吐出流量計	小山雨水P 吐出流量計
大和川水位計	小山雨水P 大和川水位計
—	小山雨水P 樋門水位計
冷却水槽温度計	小山雨水P 冷却水槽温度計
地下重油タンク貯留量計	小山雨水P No.1地下重油タンク貯留量計
地下重油タンク貯留量計	小山雨水P No.2地下重油タンク貯留量計
雨量計	小山雨水P 雨量計(1)
—	小山雨水P 雨量計(2)
高段主流入ゲート現場操作盤(S-SCB11)	小山雨水P 高段主流入ゲート現場操作盤 SK1
遮断ゲート現場操作盤(S-SCB12)	小山雨水P 遮断ゲート現場操作盤 SK2
No.1・2高段流入ゲート現場操作盤(S-SBC13)	小山雨水P No.1・2高段流入ゲート現場操作盤 SK3
No.3・4高段流入ゲート現場操作盤(S-SBC14)	小山雨水P No.3・4高段流入ゲート現場操作盤 SK4
No.1細目自動除塵機現場操作盤(S-SBC21)	小山雨水P No.1細目自動除塵機現場操作盤 SK5
No.2細目自動除塵機現場操作盤(S-SBC22)	小山雨水P No.2細目自動除塵機現場操作盤 SK6
No.3細目自動除塵機現場操作盤(S-SBC23)	小山雨水P No.3細目自動除塵機現場操作盤 SK7
No.1L渣搬出機現場操作盤(S-SBC31)	小山雨水P No.1L渣搬出機現場操作盤 SK9
No.2L渣搬出機現場操作盤(S-SBC32)	小山雨水P No.2L渣搬出機現場操作盤 SK10
No.3L渣搬出機現場操作盤(S-SBC33)	小山雨水P No.3L渣搬出機現場操作盤 SK11

表 2.4.1.6 電気資産の変更例（小山雨水P）2/2

資産評価時資産名称	本計画での資産計上
し渣スキップホイス現場操作盤(S-SBC34)	小山雨水P し渣スキップホイス現場操作盤 SK12
沈砂池排水ポンプ現場操作盤(S-SBC-35)	小山雨水P 沈砂池排水ポンプ現場操作盤 SK13
暫定水中ポンプ現場操作盤	小山雨水P 暫定水中ポンプ現場操作盤 SL9
作業用電源盤(S-L11)	小山雨水P 作業用電源盤 SK14
1号雨水ポンプ現場操作盤(P-SCB11)	小山雨水P 1号雨水ポンプ現場操作盤 SM1
2号雨水ポンプ現場操作盤(P-SCB12)	小山雨水P 2号雨水ポンプ現場操作盤 SM2
3号雨水ポンプ現場操作盤(P-SCB13)	小山雨水P 3号雨水ポンプ現場操作盤 SM3
空気圧縮機現場操作盤(P-SCB24)	小山雨水P 空気圧縮機現場操作盤 SL1
作業用電源盤(P-L21)	小山雨水P 作業用電源盤 SL7
雨水ポンプ用冷却水ポンプ現場操作盤(P-SCB25)	小山雨水P 雨水ポンプ用冷却水ポンプ現場操作盤 SL3
高架水槽揚水ポンプ現場操作盤(P-SCB23)	小山雨水P 高架水槽揚水ポンプ現場操作盤 SL4
高段ポンプ井排水ポンプ現場操作盤(P-SCB27)	小山雨水P 高段ポンプ井排水ポンプ現場操作盤 SL5
ポンプ室床排水ポンプ現場操作盤(P-SCB26)	小山雨水P ポンプ室床排水ポンプ現場操作盤 SL6
燃料移送ポンプ現場操作盤(P-SCB25)	小山雨水P 燃料移送ポンプ現場操作盤 SL8
調圧水槽流出ゲート現場操作盤(P-SCB41)	小山雨水P 調圧水槽流出ゲート現場操作盤 SK16
作業用電源盤(P-L21)	小山雨水P 作業用電源盤 SL2
柏ヶ花ゲート現場操作盤	小山雨水P 柏ヶ花ゲート現場操作盤 SK17
—	小山雨水P 放流ゲート現場操作盤 SK15
—	小山雨水P 放流渠口ゲート機側操作盤
計装盤(KP-1)	小山雨水P 計装盤 EZ1
中央補助継電器盤(1)	小山雨水P 中央補助継電器盤(1) RB1
中央補助継電器盤(2)	小山雨水P 中央補助継電器盤(2) RB2
中央補助継電器盤(3)	小山雨水P 中央補助継電器盤(3) RB3
中央補助継電器盤(4)	小山雨水P 中央補助継電器盤(4) RB4
計装変換器盤(1)(KP-1)	小山雨水P 計装変換器盤(1) EZ2
受電設備監視盤(MGP-1)	小山雨水P 受電設備監視盤 KD1
高段沈砂池設備監視盤(MGP-2)	小山雨水P 高段沈砂池設備監視盤 KE1
高段ポンプ設備監視盤(MGP-3)	小山雨水P 高段ポンプ設備監視盤 KF2
デマンド監視制御装置(DK-1)	小山雨水P デマンド監視制御装置 DK-1
—	小山雨水P 北條ポンプ場監視制御操作卓 LCD-K1(HIS-11)
—	小山雨水P テーラログ-
場内・河川監視用CCTVカメラ	小山雨水P 場内・河川監視用CCTVカメラ(1)
場内・河川監視用CCTVカメラ	小山雨水P 場内・河川監視用CCTVカメラ(2)
侵入者監視用CCTVカメラ	小山雨水P 侵入者監視用CCTVカメラ
放流監視用CCTVカメラ	小山雨水P 放流監視用CCTVカメラ
小山ポンプ場/ITV受信盤(ITV-K1)	小山雨水P 小山ポンプ場/ITV制御盤 ITV-K1
小山雨水ポンプ場/ITV受信盤	小山雨水P 小山雨水ポンプ場/ITV受信盤
小山ポンプ場/ITV操作卓	小山雨水P 小山ポンプ場/ITV操作卓
小山雨水ポンプ場/ITV操作卓	小山雨水P 小山雨水ポンプ場/ITV操作卓
—	小山雨水P 北條ポンプ場/ITV制御盤
北條雨水ポンプ場/ITV制御盤	小山雨水P 北條ポンプ場/ITV制御盤 ITV-K1
北條ポンプ場/テレメータ装置盤(TM-K1)	小山雨水P 北條ポンプ場/テレメータ装置盤 TM-K1
—	小山雨水P インターフェース盤 PG1
テレメータ伝送(1)	小山雨水P テレメータ伝送(1)
テレメータ伝送(2)	小山雨水P テレメータ伝送(2)
—	小山雨水P 非常通報装置

2.5 リスクの検討に関する情報

2.5.1 点検・調査結果

平成28年度に維持管理の中で行った機器点検総合評価における不具合、もしくはその兆候があった資産を以降に示す。

藤井寺市		総合評価		
機器名	点検項目 (単位)	点検結果 No.1	No.2	No.3
し 流 量 出 機	異常・振動・発熱の有無	○	○	○
	電動機定格電圧値 (V)	3.3	3.3	3.3
	電動機の電圧変動値 (V)	※1	※1	※1
	ベクトル回転状態	○	○	○
	各相のベクトル回転の状態	○	○	○
	各相のベクトル回転の状態	○	○	○
	回転速度(1分間)と定格の有無	○	○	○
	回転の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○

備考 ※1 屋外設置機器につきましては、メーター類のプラスチック部分の劣化等が見られます。更新をご検討下さいませようお願い致します。

※2 洗浄水給水用電動弁 止水不良の為、少量の水が流れ続けています。電動弁の更新をご検討下さいませようお願い致します。

※ 屋外設置機器につきましては、塗装劣化、錆び等が見られます。大規模な塗装補修工事をご検討下さいませようお願い致します。

熊ヶカダ 藤井寺事業所		総合評価		
機器名	点検項目 (単位)	点検結果 No.1	No.2	No.3
し 流 量 出 機	異常・振動・発熱の有無	○	○	○
	ベクトル回転の状態	○	○	○
	各相のベクトル回転の状態	○	○	○
	各相のベクトル回転の状態	○	○	○
	回転速度(1分間)と定格の有無	○	○	○
	回転の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○
	1分間停止(1分間)の状態	○	○	○

備考 ※1 屋外設置機器につきましては、メーター類のプラスチック部分の劣化等が見られます。更新をご検討下さいませようお願い致します。

※2 洗浄水給水用電動弁 止水不良の為、少量の水が流れ続けています。電動弁の更新をご検討下さいませようお願い致します。

※ 屋外設置機器につきましては、塗装劣化、錆び等が見られます。大規模な塗装補修工事をご検討下さいませようお願い致します。

藤井寺市		総合評価		
機器名	点検項目 (単位)	点検結果 No.1	No.2	No.3
空 気 圧 縮 機	電動機の異常・振動・発熱の有無	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○

備考 ※1 No.2 空気圧縮機

※2 動作時にエアが漏れるような音が取りますが圧力計の数値や空気圧に比異常が見られない為、経過観察中

熊ヶカダ 藤井寺事業所		総合評価		
機器名	点検項目 (単位)	点検結果 No.1	No.2	No.3
空 気 圧 縮 機	電動機の異常・振動・発熱の有無	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○
	圧縮機(1分) 圧縮機(1分) 圧縮機(1分)	○	○	○

備考 ※1 No.2 空気圧縮機

※2 動作時にエアが漏れるような音が取りますが圧力計の数値や空気圧に比異常が見られない為、経過観察中

藤井寺市				総合評価				状況	点検者
機器名	点検項目 (単位)	点検結果	備考	機器名	点検項目 (単位)	点検結果	備考		
計器類	回転計検査	○	特に異常はありません	引込装置	最近度検出の作動の状態	○	特に異常はありません		
	潤滑油圧力計検査	○			潤滑油圧力計作動の状態	○			
	冷却水圧力計検査	○			冷却水圧力計作動の状態	○			
	給電圧力計検査	○			冷却水断水時の作動の状態	○			
		○			燃料遮断装置の作動状態	○			
空冷系統	自家発電機冷却ファン回転	○	特に異常はありません	総合	冷却ファン回転の検査	○	特に異常はありません		
	空冷装置の点検	○			総合点検結果の点検	○			
	配管、パワースイッチの有無	○			保安の検査、点検、異常の有無	○			
潤滑油系統	潤滑油の油質、油質の状態	○	12月20日	油圧交換を実施	潤滑油の油質、油質の状態	○	特に異常はありません		
	パワースイッチの点検	○			保安の検査、点検、異常の有無	○			
	名義値の点検 (17-検査実施)	○			適合状態の点検	○			
	分解油の状態	○			表示の点検	○			
	潤滑装置の点検	○			動作確認 (点検) 試験、作動の確認	○			
冷却水系統	冷却水ポンプバルブ作動の状態	○	特に異常はありません	二相交流発電機	発電機の異常、点検の有無	○	特に異常はありません		
	冷却水ポンプの点検	○			発電機、保安装置の状態 (点検)	○			
	配管、パワースイッチの有無	○			発電機、保安装置の点検	○			
	パワースイッチの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
	パワースイッチの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
燃料油系統	燃料油ポンプの異常の有無	○	特に異常はありません	燃料油系統	保安装置、電圧計検査	○	特に異常はありません		
	名義値の点検 (17-検査実施)	○			保安装置、電圧計検査	○			
	燃料ポンプの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
	燃料ポンプの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
	燃料ポンプの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
給電系統	配管、パワースイッチの有無	○	特に異常はありません	給電系統	保安装置、電圧計検査	○	特に異常はありません		
	パワースイッチの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
	パワースイッチの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
給電系統	配管、パワースイッチの有無	○	特に異常はありません	給電系統	保安装置、電圧計検査	○	特に異常はありません		
	パワースイッチの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
	パワースイッチの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			

※ プライミングポンプの過負荷(過電流)は未解決ですが、サーマルトリップ等の不具合は発生していません。(経過観察中)

藤井寺市				総合評価				状況	点検者
機器名	点検項目 (単位)	点検結果	備考	機器名	点検項目 (単位)	点検結果	備考		
計器類	回転計検査	○	特に異常はありません	シリンダー潤滑	冷卻水温度	○	No.3 D/E	No.3 D/E	No.3 D/E
	潤滑油圧力計検査	○			冷卻水温度	○			
	冷却水圧力計検査	○			冷卻水温度	○			
	給電圧力計検査	○			冷卻水温度	○			
		○			冷卻水温度	○			
空冷系統	給電時、空気圧低下	○	特に異常はありません	シリンダー圧力	冷卻水温度	○	特に異常はありません		
	点検装置の点検	○			冷卻水温度	○			
	配管、パワースイッチの有無	○			冷卻水温度	○			
潤滑油系統	潤滑油の油質、油質の状態	○	特に異常はありません	総合	総合点検結果の点検	○	特に異常はありません		
	パワースイッチの点検	○			保安の検査、点検、異常の有無	○			
	名義値の点検 (17-検査実施)	○			適合状態の点検	○			
	分解油の状態	○			表示の点検	○			
	潤滑装置の点検	○			動作確認 (点検) 試験、作動の確認	○			
冷却水系統	冷却水ポンプバルブ作動の状態	○	特に異常はありません	燃料油系統	保安装置、電圧計検査	○	特に異常はありません		
	冷却水ポンプの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
	配管、パワースイッチの有無	○			保安装置、電圧計検査	○			
	パワースイッチの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
	パワースイッチの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
燃料油系統	燃料油ポンプの異常の有無	○	特に異常はありません	給電系統	保安装置、電圧計検査	○	特に異常はありません		
	名義値の点検 (17-検査実施)	○			保安装置、電圧計検査	○			
	燃料ポンプの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
	燃料ポンプの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
	燃料ポンプの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
給電系統	配管、パワースイッチの有無	○	特に異常はありません	給電系統	保安装置、電圧計検査	○	特に異常はありません		
	パワースイッチの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
	パワースイッチの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
給電系統	配管、パワースイッチの有無	○	特に異常はありません	給電系統	保安装置、電圧計検査	○	特に異常はありません		
	パワースイッチの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			
	パワースイッチの点検	○			保安装置、電圧計検査	○			

※ No.2D/E・No.3D/E 平成27年度にオーバーホールを実施
※ 冷却水ポンプ動作時に「蓄熱水槽水位異常高」の警報が発報する場合があります (経過観察中)

藤井寺市				総合評価				表タカダ 藤井寺事業所		
機器名	点検項目 (単位)	点検結果			備考	機器名	点検項目 (単位)	点検結果		備考
		No. 1	No. 2	No. 3			No. 1	No. 2	No. 3	
空気圧機機	電動機の異常・騒動・発熱の有無	○	○	○		No.1空気圧機機 の安全弁を 分解清掃実施	電動機の異常・異常・発熱の有無	○	○	
	圧縮機の異常・騒動・発熱の有無	○	○	○			グリスの異常・異常・発熱の有無	○	○	○
	正圧機(ポンプ)油圧、潤滑の状況	○	○	○			油配管、グリス油圧の有無確認	○	○	○
	電動機が正常稼働	良	14.0	14.0			吐出圧力計値の確認 (kg/cm ²)	○	○	○
	電動機電圧確認	良	○	○			3相電圧の差の確認	○	○	○
	回転方向の確認 (異音) (rpm)	○	○	○			異常な振動の有無	○	○	○
	吐出圧力計値	(異常) (kg/cm ²)	○	○	○		吐出圧力計の異常	○	○	○
	吐出圧力計値	(異常) (kg/cm ²)	○	○	○		吐出圧力計の異常	○	○	○
	吐出圧力計値	(異常) (kg/cm ²)	○	○	○		吐出圧力計の異常	○	○	○
	吐出圧力計値	(異常) (kg/cm ²)	○	○	○		吐出圧力計の異常	○	○	○
	吐出圧力計値	(異常) (kg/cm ²)	○	○	○		吐出圧力計の異常	○	○	○
	吐出圧力計値	(異常) (kg/cm ²)	○	○	○		吐出圧力計の異常	○	○	○
	吐出圧力計値	(異常) (kg/cm ²)	○	○	○		吐出圧力計の異常	○	○	○
	吐出圧力計値	(異常) (kg/cm ²)	○	○	○		吐出圧力計の異常	○	○	○
	吐出圧力計値	(異常) (kg/cm ²)	○	○	○		吐出圧力計の異常	○	○	○
冷却水ポンプ	吐出圧力計値	上段: ○	○	○	No.1空気圧機機 (本機)のA/B/F 部よりエア 漏れあり (経過観察中)	吐出圧力計値	○	○	○	
	吐出圧力計値	下段: ○	○	○		吐出圧力計値	○	○	○	
	吐出圧力計値	上段: ○	○	○		吐出圧力計値	○	○	○	
	吐出圧力計値	下段: ○	○	○		吐出圧力計値	○	○	○	
備考										

藤井寺市				総合評価				表タカダ 藤井寺事業所			
機器名	点検項目 (単位)	点検結果			備考	機器名	点検項目 (単位)	点検結果		備考	
		No. 1	No. 2	No. 3			No. 1	No. 2	No. 3		
冷却水ポンプ	異常・騒動の有無	○	○	○		No.1冷却水ポンプ の安全弁を 分解清掃実施	異常・騒動の有無	○	○		
	電動機定格電圧値	(良) 5.8	5.8	5.8			電圧変動率の確認	良	6.7	6.7	
	電動機電圧計値	(良) ○	○	○			電圧変動率の確認	良	○	○	
	吐出圧力計値	(kg/cm ²) 17.0	良	16.0	良		吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	
	吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	○		吐出圧力計値	(kg/cm ²) Lowのみ	○	Lowのみ	○
	吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	○		吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	
	吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	○		吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	
	吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	○		吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	
	吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	○		吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	
	吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	○		吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	
	吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	○		吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	
	吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	○		吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	
	吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	○		吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	
	吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	○		吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	
	吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	○		吐出圧力計値	(kg/cm ²) ○	○	○	
備考	※1 冷却水ポンプ駆動時、止水せず冷却水水位異常高が検出しました。 (経過観察中)										

藤井寺市			総合評価																	検査日 藤井寺市業務所						
機器名	点検項目 (単位)	点検結果	点検結果																	備考						
			FS-1	FS-2	FS-3	FS-4	FS-5	FE-1	FE-2	FE-3	FE-4	FE-5	AFR1	ACP1	ACP2	ACP3	ACP4	HEU1	HEC1		HEC3	CF1	CF2-1	CF2-2	CF2-3	CF3
各機器	電気盤の異常・異音・異臭の有無	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	受電検定合格済否	(a)	21.0	21.0	7.1	3.6	21.0	14.2	14.2	3.6	3.6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	電圧降下試験済否	(a)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	電圧降下試験済否	(a)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	77Vの異常・異音の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	77Vの異常・異音の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	77Vの異常・異音の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	77Vの異常・異音の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	77Vの異常・異音の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	77Vの異常・異音の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	77Vの異常・異音の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	77Vの異常・異音の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	77Vの異常・異音の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	77Vの異常・異音の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

備考 ※1 FE-1/FE-2 が定格電流値を僅かに超える場合があります。(経過観察中)
 ※ FS-3をはじめ、各ファンモーター内のベアリング目撃音が大きくなってきております。 分標準備をご検討下さい。
 ※ AFR1 表示灯電球が度々切れます。 その都度、交換を実施。
 ※ 点検時、這時エアフィルター清掃実施/這時各種回転受け部、給油実施/這時各種器稼付ボルト締め箇所、増締め実施。

- FS-1 ボンプ室換気ファン
- FS-2 駆動機室換気ファン
- FS-3 駆動機室換気ファン
- FS-4 電気室換気ファン
- FS-5 換気機室換気ファン
- FE-1 ボンプ室換気ファン
- FE-2 駆動機室換気ファン
- FE-3 駆動機室換気ファン
- FE-4 電気室換気ファン
- FE-5 換気機室換気ファン
- AFR1 電気室27V7A用
- ACP1 作業員控え室エアコン
- ACP2 監視室エアコン
- ACP3 監視室エアコン
- ACP4 書庫エアコン
- HEU1 作業員控え室空調機
- HEC1 監視室空調機
- HEC3 監視室空調機
- CF1 電気室換気ファン
- CF2-1 1号換気ファン
- CF2-2 2号換気ファン
- CF2-3 3号換気ファン
- CF3 換気機室換気ファン

藤井寺市			総合評価																	検査日 藤井寺市業務所					
機器名	点検項目 (単位)	点検結果	点検結果																	備考					
			No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17						
計器類	圧力計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
潤滑油	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
冷却水	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
燃料油	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	油圧計	(個)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

備考 ※1 比較20℃標準値(小標点4以下四捨五入)、基準値:230-1250
 温度補正 D20=Dt+0.0007(t-20)

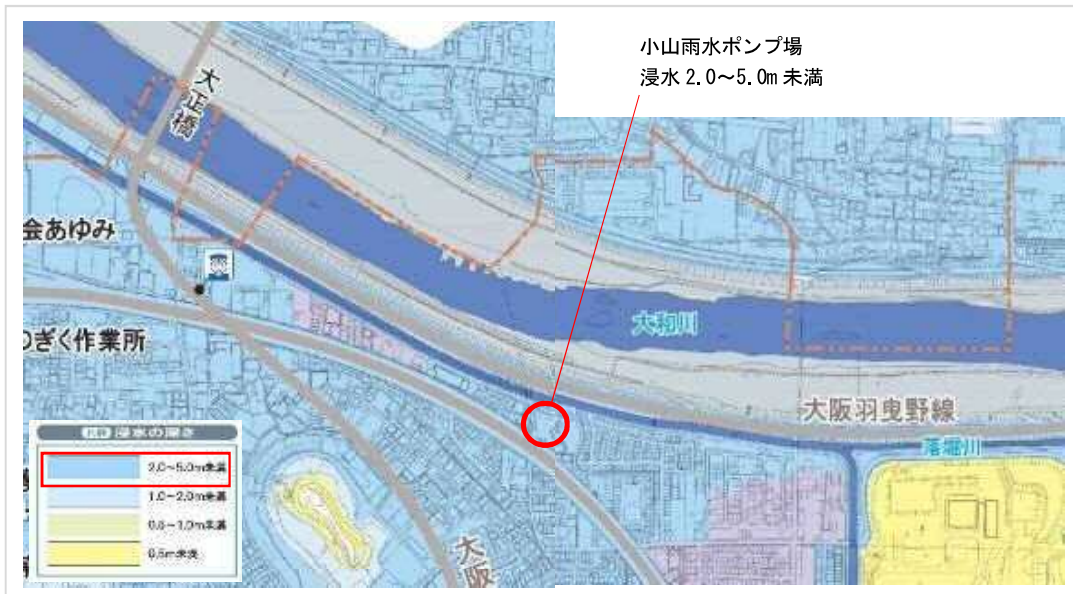
藤井寺市				統括		点検者			
総合評価									
機器名	点検項目	点検結果		備考	機器名	点検項目	点検結果		
		No.1 主ポンプ	No.2 主ポンプ				No.1 主ポンプ	No.2 主ポンプ	
計器指針	回転計正常指針の確認 (rpm)	○	○	特に異常はありません	燃料油系統	機関燃料ポンプ異音の有無	○	○	
	潤滑油圧力計指針の確認 (kg/cm ²)	○	○			調速装置の状態、油量 (mm)	○	○	
	冷水圧力計指針の確認 "	○	○			濾過器の状態 (手廻し実施)	○	○	
	給気圧力計指針の確認 "	○	○			噴射ポンプ作動の確認	○	○	
空気系統	始動時、空気圧低下量 (kg/cm ²)	○	○	特に異常はありません	燃料油系統	燃料流量計の確認 (ℓ) 1号	○	○	
	起動状態の確認	○	○			" 2号	○	○	
	配管、バルブの漏れの有無 (ドレーン実施)	○	○			配管、バルブの油洩の有無	○	○	
	始動用電磁弁の状態 (アーク)の確認	○	○						
潤滑油系統	クランク室油様の油量、汚濁の確認	○	○	No.2 D/E のオイル交換が残っています	過給器	過給気外観異常の有無	○	○	
	アラミングポンプ電動機振動異常の有無	○	○			オイルポンプ油底、汚濁の確認 タービン左	○	○	
	機関潤滑油ポンプの状態	○	○			" (mm) タービン右	○	○	
	濾過器の状態、ドレーン抜き	○	○			" プロウ左	○	○	
	弁駆注油の状態	○	○			" プロウ右	○	○	
	オイルクー油温度計確認 (A点) (℃)	○	○			フィルタ汚染の状態確認	○	○	
冷却水系統	オイルクー油温度計確認 (B点) (℃)	○	○	冷却水槽の給水電磁弁に止水不良があります	温度センサー	タービン停止時間の確認	○	○	
	オイルクーポンプ動作確認	○	○			総合排気温度計指針確認 (℃)	○	○	
	冷却水モーターポンプ作動の状態	○	○			機関温水循環ヒータの状態の確認	○	○	
	流量の確認 (ℓ/min)	○	○			クランク室安全弁の状態確認	○	○	
	オイルクー冷却水温度計確認 (A点) (℃)	○	○			各バルブの状態確認	○	○	
	" (B点) (℃)	○	○						
	オイルクー冷却水温度確認 (A点) (℃)	○	○			保護装置	過速度検出センサー作動の状態	○	○
	" (B点) (℃)	○	○				潤滑油圧力センサー作動の状態	○	○
	機関冷却水温度確認 (A点) (℃)	○	○				潤滑油温度上昇センサー作動の状態	○	○
	" (B点) (℃)	○	○				冷却水断水センサー作動の状態	○	○
オイルクーポンプバルブ開度の確認	○	○	冷却水温度センサー作動の状態 (70℃)	○	○				
ドレーンポンプの状態 (常時開)	○	○	燃料遮断装置の作動状態	○	○				
機関冷却水ポンプバルブ油圧確認	○	○	備考 ※ 平成27年度にNo.1D/E は、オーバーホールを実施しておりますが No.2D/E のオーバーホールが未実施です						
温水循環ポンプの状態の確認	○	○							
温水弁の状態	○	○							
オイルクーポンプの状態	○	○							
配管、バルブの漏れの有無	○	○							

藤井寺市				統括		点検者		
総合評価								
機器名	点検項目	点検結果		備考	機器名	点検項目	点検結果	
		No.1 主ポンプ	No.2 主ポンプ				No.1 主ポンプ	No.2 主ポンプ
減速機関係	減速機オイルポンプ油底、汚濁の確認 (mm)	○	○	1号減速機オーバーホール時にオイル交換を実施	機関総合	機関起動時、異常の有無	○	○
	オイルポンプ作動の状態	○	○			機関の異音、振動、異臭の有無	○	○
	アラミングポンプ電動機振動異常の有無	○	○			消音装置排気筒の状態、ドレーン抜き	○	○
	潤滑油流量、歯車油浴の状態	○	○			表示ランプ点灯確認	○	○
	冷却水流量の状態 (60 ℓ/min 以上)	○	○			操作盤計器表示指針確認 (吐出弁)	○	○
	減速機温度計指針の確認 (℃)	○	○			操作盤内外、異常の有無	○	○
	スラスト軸受温度計指針の確認 (℃)	○	○			各部締め付け、外観異常の有無	○	○
	潤滑油圧力計指針の確認 (kg/cm ²)	○	○					
	" (アラミング時)	○	○					
	オイルクー冷却水の確認 (A点) (℃)	○	○					
立軸斜流ポンプ・吐出弁	オイルクー冷却水の確認 (B点) (℃)	○	○	特に異常はありません	ポンプ井排水ポンプ	電動機の異音、振動の有無	○	○
	油濾過器の状態、ドレーン抜き	○	○			電動機の定格電流値	178	
	横軸バルブ異常の有無	○	○			電動機電流値指針の確認 (A)	○	○
	配管、護手、バルブ油洩の異常の有無	○	○			ポンプ井水位計指針確認 (TPm)	○	○
	各部締め付けボルト外観異常の有無	○	○			吐出圧力計指針の確認 (MPa)	○	○
						バルブ作動の状態 (開、閉)	○	○
						排水場所切替バルブの状態	沈砂池側: 閉 吐出弁側: 開	
						チャッキ弁の動作及び状態	○	○
						吊上装置の状態	○	○
						現操盤表示ランプ点灯確認	○	○
立軸斜流ポンプ・吐出弁	立軸カップリング異常の有無	○	○	特に異常はありません	立軸斜流ポンプ・吐出弁	現操盤内外、異常の有無	○	○
	吐出圧力計指針の確認 (MPa)	○	○			各部締め付けボルト外観異常の有無	○	○
	グランドパッキン、注水の状態	○	○					
	上部軸受け油底の確認 (mm)	○	○					
	ワンスイッチ作動流水圧力計確認 (ℓ/min)	○	○					
	軸受潤滑水流量の状態 (A点) (ℓ/min)	○	○					
	" (B点) (ℓ/min)	○	○					
	放流バルブ(弁)閉鎖時異常の有無	○	○					
	バルブエントロピー作動の状態 (手動切替)	○	○					
	吐出弁ワンスイッチ作動確認	○	○					
吐出弁開度計開度 (%)	○	○						
空気抜管バルブ異常の有無 (常時開)	○	○						
連結シャフト異常の有無	○	○						
気水切替弁の異常の有無	○	○						
潤滑水モーターポンプ異常の有無	○	○						
集合温調弁外観異常の有無	○	○						
各部締め付けボルト外観異常の有無	○	○						

2.5.2 浸水被害（ハザードマップ）

(1) 洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップから、小山雨水ポンプ場は浸水対策が必要である。



出典：藤井寺市 HP 洪水ハザードマップに加筆

図 2.5.2.1 洪水ハザードマップ（小山雨水ポンプ場）



出典：藤井寺市 HP 洪水ハザードマップに加筆

図 2.5.2.2 洪水ハザードマップ（北條雨水ポンプ場）

(2) 内水ハザードマップ



出典：藤井寺市 HP 内水ハザードマップに加筆

図 2.5.2.3 内水ハザードマップ (小山雨水ポンプ場)



出典：藤井寺市 HP 内水ハザードマップに加筆

図 2.5.2.4 内水ハザードマップ (北条雨水ポンプ場)

2) 特定施設・届出施設の確認

表 2.5.2.1 特定施設・届出施設の一覧表 (1/2)

施設名	騒音		振動		備考
	法	条例	法	条例	
金属加工機械					
圧延機械	* 22.5kW	* 22.5kW			*原動機の定格出力の合計
製管機械	○	○			
ベンディングマシン	* 3.75kW	* ○		○	*ロール式に限る
油圧プレス	* ○	* ○	* ○	* ○	*矯正プレスを除く
矯正プレス		○		○	
機械プレス	* 294kN	○	○	○	*呼び加工能力
せん断機	3.75kW	○	1kW	○	
鍛造機	○	○	○	○	
ワイヤーフォーミングマシン	○	○	37.5kW	* 1.5kW	*原動機の定格出力の合計
ブラスト	* ○	○			*タンブラスト以外のもので密閉式のものを除く
タンブラー	○	○			
自動旋盤		* ○			*産材作業用のものに限る
数値制御フライス盤		○			
マシニングセンタ		○			
平削盤		○		○	
切断機 (とじきを用いるものに限る。)	○	○			
グラインダー		* ○			*工具用及び精密加工用を除く *亜鉛浴用以外は2台以上
自動やすり目立機		5kW			
圧縮機及び送風機					
空気圧縮機	7.5kW	3.7kW	7.5kW	7.5kW	
空気圧縮機以外の圧縮機		3.7kW	7.5kW	7.5kW	
送風機	7.5kW	3.7kW			
粉砕機					
土石用等の破砕機、 摩砕機、ふるい、 分粒機	7.5kW	○	7.5kW	3.7kW	
穀物用製粉機	* 7.5kW	○		3.7kW	*ロール式に限る
穀物用製粉機を除く 食用加工用粉砕機		○		* 3.7kW	*破砕機、摩砕機を含む
その他の用に供する 粉砕機		* ○		* 3.7kW	*破砕機、摩砕機を含む
繊維機械					
織機	* ○	* ○	* ○	* ○	*原動機を用いるもの
紡績機械		○			
絹糸機		* ○			*2台以上
撚糸機		○			
建設用資材製造機械					
コンクリートプラント	* 0.45m ³	* ○		○	*容積容量、気ほうコンクリートプラントを除く
コンクリートブロックマシン			* 2.95kW	* 2.95kW	*原動機の定格出力の合計
コンクリート管・柱 製造機械			* 10kW	* 10kW	*原動機の定格出力の合計
アスファルトプラント	* 200kg	○			*品検査量

 本ポンプ場の該当項目

出典：藤井寺市 HP 届出対象施設一覧

表 2.5.2.1 特定施設・届出施設の一覧表 (2/2)

施設名	騒音		振動		備考
	法	条例	法	条例	
木材加工用機械					
ドラムパーカー	○	○	○	○	
テッパ	2.25kW	2.25kW	2.2kW	2.2kW	
碎木機	○	○			
帯のこぎ	* 15kW ** 2.25kW	○			+製材用 +木工用
丸のこぎ	* 15kW ** 2.25kW	○			+製材用 +木工用
かな盤	2.25kW	○			
抄紙機	○	○			
印刷機械	* ○	* ○	2.2kW	2.2kW	*原動機を用いるもの
ロール機					
ゴム練用又は合成樹脂練用ロール機		○	* 30kW	* 30kW	*カンパ-ロール機を除く
その他のロール機		* ○			+金属及び食品加工用を除く
合成樹脂成形加工機械					
合成樹脂射出成形機	○	○	○	○	
その他の合成樹脂成形加工機械		○		* 15kW	+原動機の定格出力の合計
鋳造型機	* ○	* ○	* ○	* ○	+ジョイント式に限る
エアーハンマ		○			
走行クレーン		* 3t		* 5t	*吊り上げ能力
工業用動力マシン		* ○			+3台以上
紙工機械		* 3.7kW		* 15kW	+原動機の定格出力の合計
遠心分離機		+ 1.2m		* 1.2m	+直径
筆じん装置		○			
かくはん機		3.7kW			
電気炉		* ○			+鉄鋼及び非鉄金属製造用のものに限る
ロータリーキルン		○			
冷凍機及び空調機		* 7.5kW			+クーリングタワーを有せず室外機に圧縮機又は送風機を有するもの
クーリングタワー		2.2kW			
スチームクリーナー		* 7.5kW			+原動機の定格出力の合計
石材用の切断機及び切前機		○			
オイルバーナー		* ○			+ロータリー式、ガンタイプ式を除く

〔表の見方〕

・「法」の欄に○または数値のあるものが特定施設で、「条例」の欄に○または数値のあるものが届出施設です。

・表中の数値、例えば7.5kWは、原動機の定格出力が7.5kW以上のものが届出が必要であることを表します(kNは、キロニュートンを表します。)

・表中の*は、条件付きであることを表し、その条件は備考欄に示しています。

 本ポンプ場の該当項目

出典：藤井寺市 HP 届出対象施設一覧

3) 騒音に関する規制

表 2.5.2.2 騒音に関する規制

区域の区分	朝(午前6時から午前8時)、 夕(午後6時から午後9時)の 基準値	昼間(午前8時から午後6時)の 基準値	夜間(午後9時から翌日午前6時)の 基準値	備考
第1・2種低層住居専用地域	45デシベル	50デシベル	40デシベル	北條雨水ポンプ場が該当
第1・2種中高層住居専用地域、 第1・2種住居地域、準住居地 域、市街化調整区域など	50デシベル	55デシベル	45デシベル	
近隣商業地域、商業地域、準工 業地域など	60デシベル	65デシベル	55デシベル	小山雨水ポンプ場が該当
工業地域、工業専用地域など	65デシベル	70デシベル	60デシベル	
工業地域、工業専用地域などで 学校・病院等の周辺など	60デシベル	65デシベル	55デシベル	

 本ポンプ場の該当項目

4) 振動に関する規制

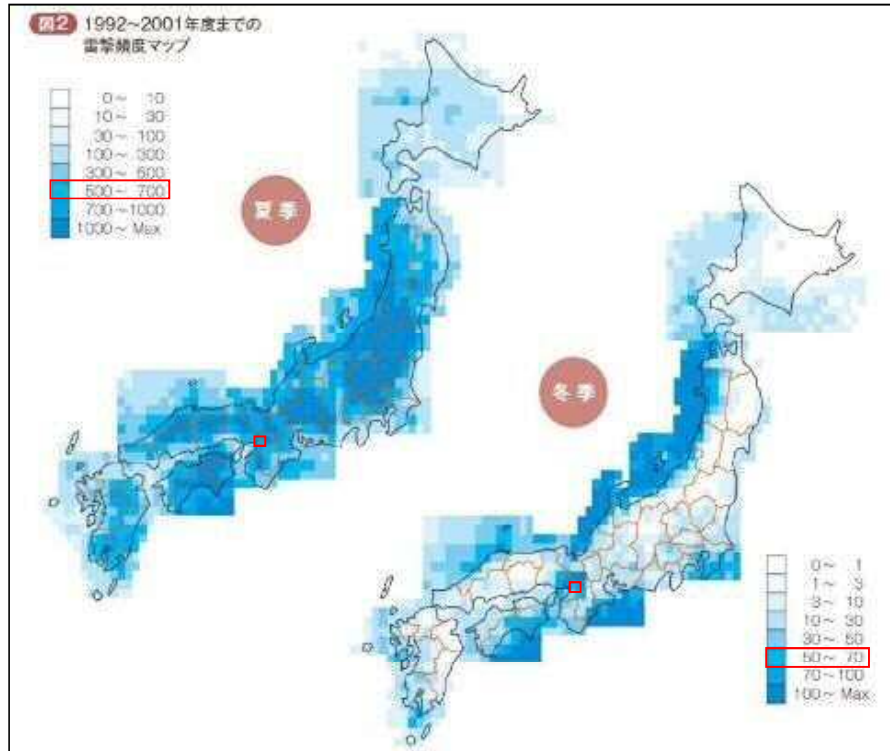
表 2.5.2.3 振動に関する規制

区域の区分	昼間(午前6時から午後9時)の 基準値	夜間(午後9時から翌日午前6 時)の基準値	備考
第1・2種低層住居専用地域、第 1・2種中高層住居専用地域、第 1・2種住居地域、準住居地域、 市街化調整区域など	60デシベル	55デシベル	北條雨水ポンプ場が該当
近隣商業地域、商業地域、準工 業地域など	65デシベル	60デシベル	小山雨水ポンプ場が該当
工業地域、工業専用地域など	70デシベル	65デシベル	
工業地域、工業専用地域などで 学校・病院等の周辺など	65デシベル	60デシベル	

 本ポンプ場の該当項目

(4) 雷の観測統計

雷の観測統計は下記のとおりである。夏期の雷が多く、冬季の雷が少ないが全国年間落雷発生日数としては多いため、必要に応じて雷対策が必要である。



出典：関東電気保安協会 雷現象と雷害対策

図 2.5.2.6 雷の観測統計

表 2.5.2.4 全国年間落雷発生日数の都道府県別分類

(1) 多い (24 日以上)	秋田、山形、新潟、富山、石川、福井（以上 6 県の沿岸部）、 栃木、群馬、岐阜、滋賀、京都、奈良、兵庫、鳥取、福岡、 佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄
(2) 普通 (16 日以上 24 日未満)	秋田、山形、新潟、富山、石川、福井（以上 6 県の内陸部）、 福島、茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、静岡、 愛知、三重、 大阪 、和歌山、岡山、広島、島根、山口、 徳島、香川、愛媛、高知、大分
(3) 少ない (16 日未満)	北海道、青森、岩手、宮城

出典：雷保護設計要領（日本下水道事業団）

表 2.5.2.5 全国被害危険度の都道府県別分類

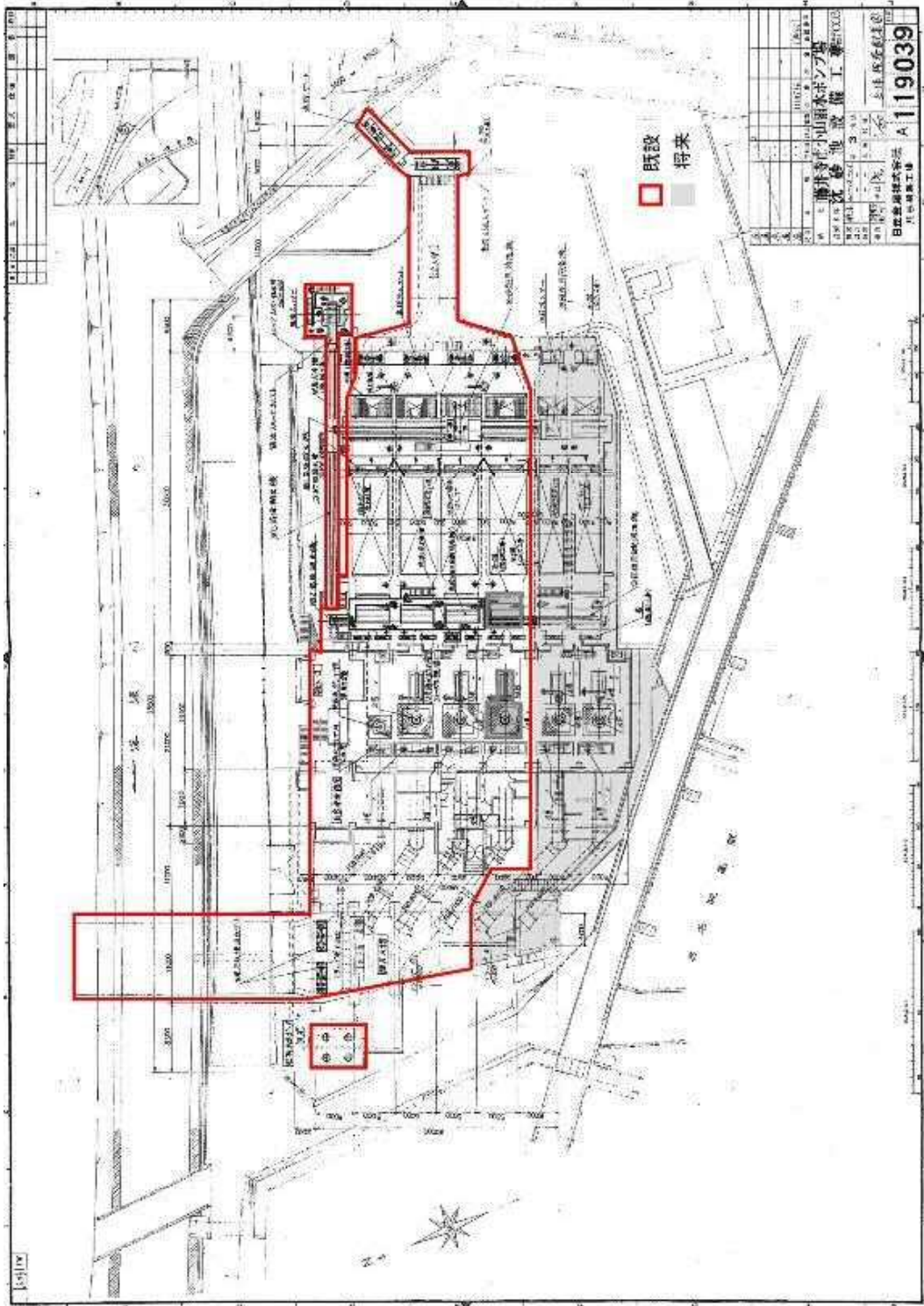
高危険度地域	秋田、山形、新潟、富山、石川、福井（以上6県の沿岸部）、福島、栃木、茨城、群馬、埼玉、東京、兵庫、岡山、熊本
中危険度地域	秋田、山形、新潟、富山、石川、福井（以上6県の内陸部）、神奈川、山梨、長野、愛知、岐阜、滋賀、京都、 大阪 、奈良、和歌山、鳥取、広島、徳島、高知、福岡、大分、鹿児島、沖縄
低危険度地域	北海道、青森、岩手、宮城、千葉、静岡、三重、島根、山口、香川、愛媛、佐賀、長崎、宮崎

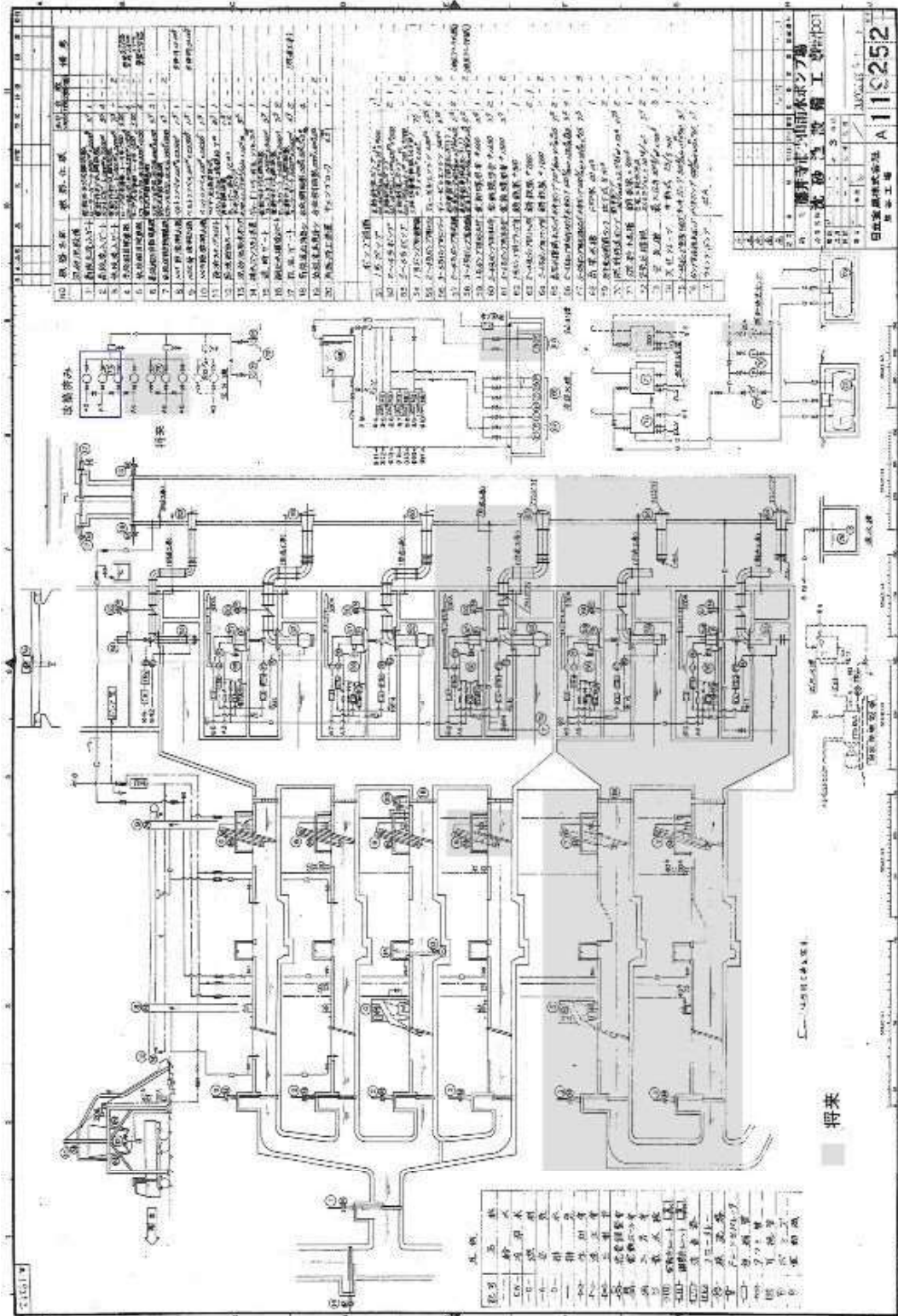
出典：雷保護設計要領（日本下水道事業団）

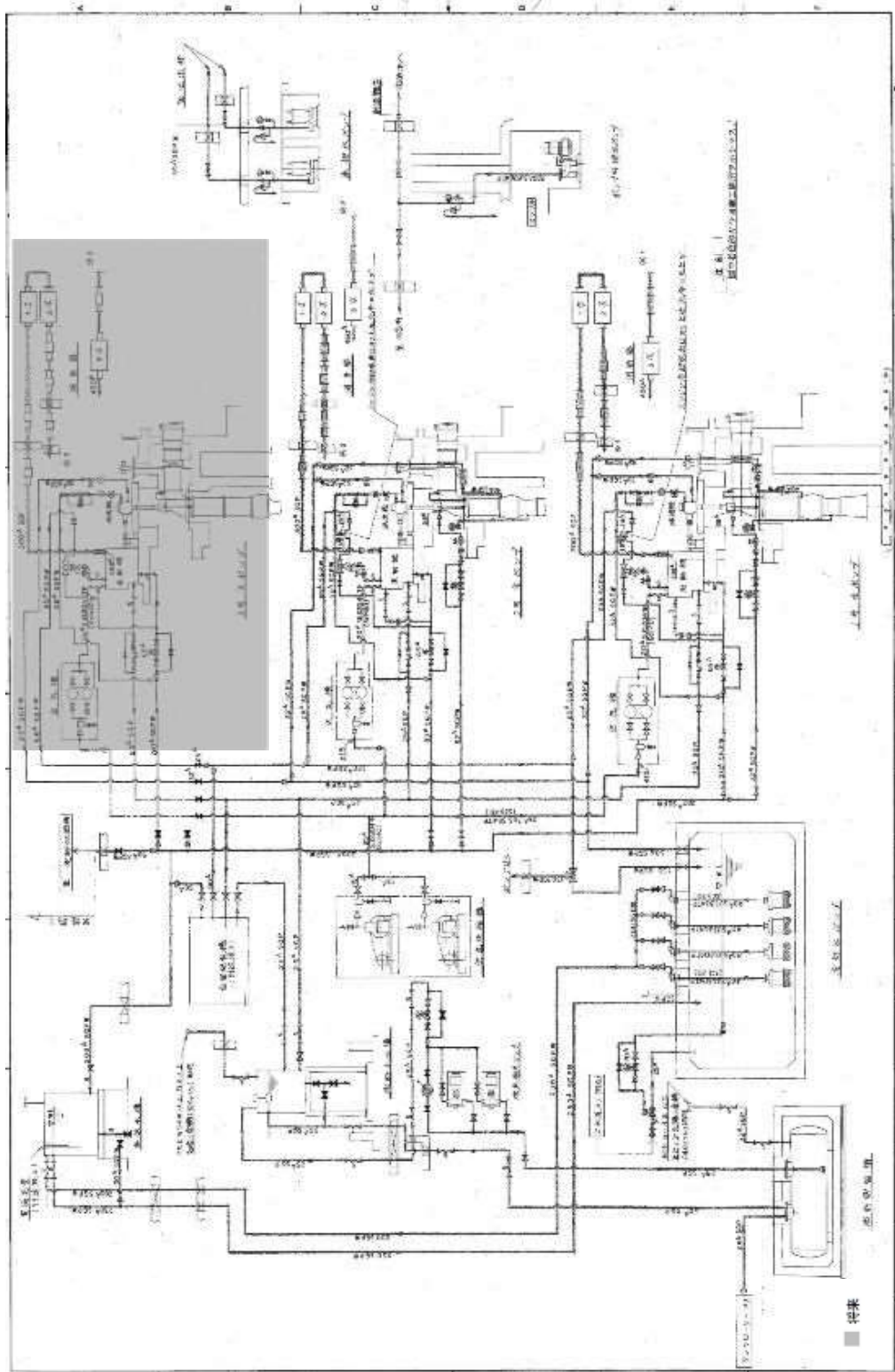
2.6 点検・調査に関する情報

(1) 図面

1) 小山雨水ポンプ場







(2) 点検・調査履歴、修繕履歴・予定

藤井寺市 小山雨水ポンプ場 整備計画案 (2017/02/08 作成)

			平成26年度 (2012)	平成27年度 (2013)	平成28年度 (2014)	平成29年度 (2015)	平成30年度 (2016)	平成31年度 (2017)	平成32年度 (2018)	平成33年度 (2019)	平成34年度 (2020)	平成35年度 (2021)	平成36年度 (2022)
小山雨水ポンプ場	1号 主ポンプ	電動機											○
		ポンプ											○
	2号 主ポンプ	エンジン				○					△ (5年目)		
		ポンプ	○										
		減速機									○		
	3号 主ポンプ	エンジン				○						△ (6年目)	
		ポンプ		○									
		減速機										○	
	自家発電機	エンジン											
		発電機											
	ゲート設備	遮断											
		流入											
		高段流入 No.1~No.4											
	除塵機設備	放流 No.1~No.2											
		細目除塵機 No.1~No.3											
		粗目除塵機											
		し選機 No.1~No.3											
		ホッパー											

藤井寺市 小山雨水ポンプ場 整備計画案 (2017/02/08 作成)

			平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)	平成33年度 (2021)	平成34年度 (2022)	平成35年度 (2023)
小山雨水ポンプ場	1号 主ポンプ	電動機								
		ポンプ								
	2号 主ポンプ	エンジン			○ (11年目)				△ (5年目)	
		ポンプ		○ (12年目)						
		減速機							○ (12年目)	
	3号 主ポンプ	エンジン				○ (12年目)			△ (5年目)	
		ポンプ			○ (12年目)					○ (12年目)
		減速機								
	自家発電機	エンジン	○							
		発電機	○							
	ゲート設備	遮断					○			
		流入					○			
		高段流入 No.1~No.4						○		
	除塵機設備	放流 No.1~No.2					○			
		細目除塵機 No.1~No.3						○		
		粗目除塵機							○	
		し選機 No.1~No.3							○	
		ホッパー							○	

出典：藤井寺市整備計画案（参考）

藤井寺市 北條雨水ポンプ場 整備計画案 (2017/02/08 作成)

			平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)	平成33年度 (2021)	平成34年度 (2022)	
北條雨水ポンプ場	1号主ポンプ	エンジン				○							△ (10年目)	
		ポンプ			○									
		減速機				○								
	2号主ポンプ	エンジン									○			
		ポンプ										○		
		減速機											○	
	ポンプ井 排水ポンプ													
	自家発電機	エンジン												
		発電機												
	ゲート設備	流入												
		放流												
	除塵機設備	自動除塵機	No.1~No.2											
		し選別出機	No.1~No.2											
		ホッパー												
	中央監視装置	小山設置分					○							
北條設置分								○						

藤井寺市 北條雨水ポンプ場 整備計画案 (2017/02/08 作成)

			平成29年度 (2023)	平成30年度 (2024)	平成31年度 (2025)	平成32年度 (2026)	平成33年度 (2027)	平成34年度 (2028)	平成35年度 (2029)	平成36年度 (2030)	平成37年度 (2031)	平成38年度 (2032)	平成39年度 (2033)
北條雨水ポンプ場	1号主ポンプ	エンジン						○ (12年目)					
		ポンプ					○ (13年目)						
		減速機							○ (14年目)				
	2号主ポンプ	エンジン			△ (5年目)					○ (10年目)			
		ポンプ									○ (10年目)		
		減速機										○ (10年目)	
	ポンプ井 排水ポンプ			○									○ (10年目)
	自家発電機	エンジン		○									
		発電機		○									
	ゲート設備	流入			○								
		放流			○								
	除塵機設備	自動除塵機	No.1~No.2				○						
		し選別出機	No.1~No.2				○						
		ホッパー				○							
	中央監視装置	小山設置分											
北條設置分													

出典：藤井寺市整備計画案（参考）

(3) 事故・故障履歴

1) 小山雨水ポンプ場

		市役所		(株)タカダ	
平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月 31日					
平成29年3月末現在 改修、修理工事が未着手・未完了・観察中のもの					
対象施設	小山雨水ポンプ場				
内容	① No.1 調圧水槽流出ゲート 温度上昇	平成28年04月05日 平成28年04月11日	No.1調圧水槽流出ゲート動作時温度上昇 設備故障報告書(No.1)にて報告	観察中	
	② データロガーPC 表示不良	平成28年03月22日 平成28年03月22日 平成28年03月23日 平成28年03月23日	左画面表示不具合発生 口頭にてメーカーによる調査を依頼 設備故障報告書(No.21)を提出 両画面表示不具合発生 日立による調査を実施	観察中	
	③	平成28年03月23日 平成28年03月31日 平成28年03月31日 平成28年03月31日	設備故障報告書(No.22)にて報告 原因不明の為、経過観察中 両画面表示不具合発生 設備故障報告書(No.23)を提出 日立による調査を実施	観察中	
	②	平成28年04月03日 平成28年04月05日 平成28年04月08日 平成28年04月15日 平成28年04月18日 平成28年04月18日 平成28年04月25日 平成28年04月27日 平成28年05月11日 平成28年05月17日 平成28年05月26日 平成29年02月02日 平成29年03月15日 平成29年03月23日	両画面表示不具合発生 日立によるログ収集作業を実施 両画面表示不具合発生 両画面表示不具合発生 両画面表示不具合発生 両画面表示不具合発生 両画面表示不具合発生 両画面表示不具合発生 両画面表示不具合発生 両画面表示不具合発生 日立によるHDD交換作業を実施 日立より最終の調査報告書 両画面表示不具合発生 両画面表示不具合発生	観察中	
	再起動から497日は経過しておりません。 現在のところ、操作上の大きな支障は無い為、経過観察中				
	③ 高架水槽 「水位異常」発報	平成28年05月16日 平成28年05月20日 平成28年05月26日	「高架水槽水位異常」発報 設備故障報告書(No.3)にて報告 日立による調査を実施 冷却水配管の逆止弁の止水不良と考えられますが、 以後、現象再現せず 観察中	観察中	
	⑦ No.1 調圧水槽流出ゲート 動作せず	平成28年07月04日 平成28年07月04日	No.1調圧水槽流出ゲート動作せず 設備故障報告書(No.7)にて報告 機能は回復しているものの、温度上昇の件も未着手であり 以後、点検時の動作を控えております。	未着手	

株式会社 タカダ
藤井寺事業所

出典：藤井寺市 平成28年度設備故障の処置状況報告書

		市役所			㈱タカダ	
平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月 31日						
平成29年3月末現在 改修、修理工事が未着手・未完了・観察中のもの						
対象施設	小山雨水ポンプ場					
内容	⑨ 2号主ポンプ 冷却水弁 動作不良	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年08月01日 2号主ポンプ 冷却水電動弁 動作不良発生 平成28年08月03日 設備故障報告書(No.9)にて報告 				未完了
	⑭ 3号主ポンプ 冷却水弁 動作不良	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年07月31日 冷却水電動弁 動作不良発生 平成27年07月31日 設備故障報告書(No.14)にて報告 平成27年08月19日 日立による調査を実施 現象再現せず 				
	⑩	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年08月08日 3号主ポンプ 冷却水電動弁 動作不良発生 平成28年08月08日 設備故障報告書(No.10)にて報告 平成28年08月10日 リミットスイッチ調整を実施 (作業報告書 No.4) <p>以後、ハンチング動作はしておりませんが、3号減速機には常時少量の通水がある状態となっています。</p> <p>対応を協議中</p>				
	⑮ し渣搬出機 洗浄水止水不良	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年01月13日 し渣搬出機洗浄水が止まらず 平成29年01月13日 設備故障報告書(No.15)にて報告 平成29年01月20日 関西日立による調査を実施 平成29年02月08日 日立プラントによる調査を実施 平成29年02月13日 日立バルブによる調査を実施 <p>対応を協議中</p>				未完了
⑯ デマント監視装置 動作不良	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年07月08日 設備故障報告書(No.4)にて報告 警報は出ないものの、現在値表示・記録は可能である為 緊急度は低く、観察中 平成29年01月22日 デマント警報発報 平成29年01月23日 設備故障報告書(No.7)にて報告 初期設定が記憶されない状態となった為、デマント監視不能 緊急度は低く、運用停止中 				運用停止中	

株式会社タカダ
藤井寺事業所

出典：藤井寺市 平成28年度設備故障の処置状況報告書

2) 北條雨水ポンプ場

		市役所				㈱タカダ		
平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月 31日								
平成29年3月末現在 改修、修理工事が完了しているもの								
対象施設	北條雨水ポンプ場							
内容	⑪ No.1 空気圧縮機 安全弁動作不良	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年09月06日 平成28年09月07日 	No.1空気圧縮機 安全弁が低圧で動作 設備故障報告書(No.11)にて報告 分解・清掃を実施 以後良好					完了
	⑫ 自家発電機 起動せず	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年01月20日 平成29年01月23日 平成29年01月25日 平成29年02月14日 	自家発電機D/E 起動せず 東芝による調査を実施 D/Eの不具合の可能性が高い為、ヤンマーに対応を依頼 ヤンマーによる調査を実施 ヤンマーによる修繕を実施 以後良好					完了
	⑬ OIS1000 (北條設置分) システム起動不能	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年02月14日 平成29年02月14日 平成26年度に取り外したHDDに交換し、以後良好 平成29年03月17日 	OIS1000 システム起動不能 東芝による調査・修繕を実施 平成26年度に取り外したHDDに交換し、以後良好 東芝による予備HDDコピーを実施					完了

株式会社 タカダ
藤井寺事業所

出典：藤井寺市 平成28年度設備故障の処置状況報告書

第2章 施設情報の収集整理

		市役所			(関タカダ)	
平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月 31日						
平成29年3月末現在 改修、修理工事が未着手・未完了・観察中のもの						
対象施設	北條雨水ポンプ場					
内容	④ 大和川水位計 水位表示不良	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年04月24日 「北條大和川水位 高」警報が発報 平成27年04月24日 設備故障報告書(No.4)にて報告 平成27年04月24日 東芝による調査を実施 水位計は正常であり、原因は不明 鳥による誤作動が考えられる為、水位計付近にロープによる鳥対策を実施 以後、大和川水位の信号は正常 経過観察中 				観察中
	④	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年06月03日 「北條大和川水位 高」警報が発報 平成28年06月09日 東芝による調査を実施 平成28年06月24日 東芝によるセンサー感度調整を実施 以後、現象再現せず。経過観察中 				
	⑬ 冷却水槽 「冷却水槽水位異常高」	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年12月14日 「冷却水槽水位 異常高」警報が発報 平成28年12月16日 設備故障報告書(No.13)にて報告 給水用電磁弁の不良と考えられます。 以後、現象再現せず。経過観察中 				未完了
	⑧ 流入ゲート 開度信号異常	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年08月25日 設備故障報告書(No.8)にて報告 平成26年08月27日 東芝による調査を実施。 OISは正常であり、ゲート側の異常と考えられるとの見解 平成26年09月09日 丸島アタシステムによる調査を実施 R/I変換器のスパン調整を実施 以後、ゲート開度信号は正常 経過観察中 平成28年12月14日 開度信号の異常に気付く 平成28年12月16日 設備故障報告書(No.14)にて報告 以後、現象は続いているものの、常時ではありません。 				未完了

株式会社タカダ
藤井寺事業所

出典：藤井寺市 平成28年度設備故障の処置状況報告書

2.7 修繕・改築に関する情報

(1) 資産番号

以下に資産番号について示す。

表 2.7.1 資産番号・資産数

機 場	区 分	番 号	備 考
小山雨水ポンプ場	土木	11001～	中分類
	建築	12001～	中分類
	建築機械	13001～	中分類
	建築電気	14001～	中分類
	機械	15001～	主要機器単位
	電気	16001～	主要機器単位
北條雨水ポンプ場	土木	21001～	中分類
	建築	22001～	中分類
	建築機械	23001～	中分類
	建築電気	24001～	中分類
	機械	25001～	主要機器単位
	電気	26001～	主要機器単位

2.8 運転に関する情報

(1) 小山雨水ポンプ場

小山雨水ポンプ場の運転状況を以下の図 2.8.1、表 2.8.1 に示す。平成 26 年度～28 年度の年間の運転回数は、11～16 日程度であり、多くが雨の多い夏場となっている。

小山排水区の雨水は、基本的には落堀川へ自然流下によって排水しており、落堀川の水位が上がるなど自然流下ができない場合にのみ、遮断ゲートを閉め、小山雨水ポンプ場に雨水を取り込んでいるため、運転日数が少ない傾向にある。同様の理由で、ポンプ井排水ポンプによる調整運転（ポンプ井残水の排水）も年 10 日程度である。

運転時間は 3 号ポンプが最も多く、1 号ポンプの稼働頻度は少ない。これは、1 号ポンプが電動ポンプのため、消費電力を抑えるための方案である。

表 2.8.2 に平成 28 年度の運転日の状況を整理した。これによると運転日 16 日の内、7 日において複数台のポンプが同時に稼働している。10 分間降雨量が 5.0mm/Hr を超えると複数台の同時運転が必要になる傾向がみられる。

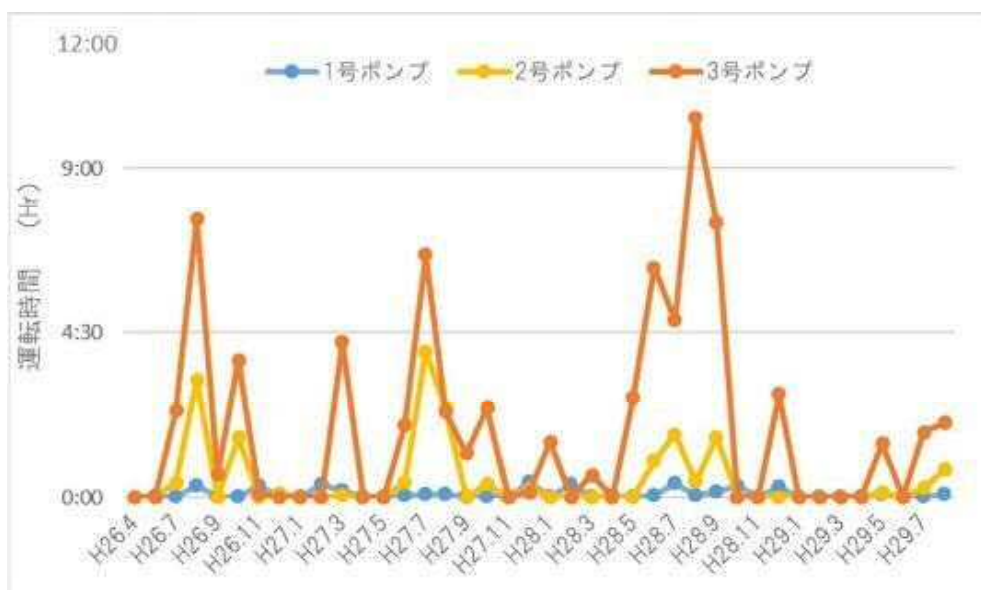


図 2.8.1 小山雨水ポンプ場 主ポンプ稼働状況

表 2.8.1 小山雨水ポンプ場 ポンプ運転年報

月	1号主ポンプ (φ600)		2号主ポンプ (φ1650)		3号主ポンプ (φ1650)		吐出力合計 (m³)	降雨量 (mm)	実排水量 (m³)	調整排水量 (m³)	突排水日数	調整排水日数
	運転時間	吐出力 (m³)	運転時間	吐出力 (m³)	運転時間	吐出力 (m³)						
H26.4	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0	63.0	0	0	0	0
H26.5	0:00	0	0:00	0	0:42	16620	16620	61.0	13380	3240	1	1
H26.6	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0	45.5	0	0	0	0
H26.7	0:00	0	0:25	9800	2:23	56250	66050	120.5	66050	0	3	0
H26.8	0:20	1050	3:12	75270	7:37	181420	257740	221.0	257390	350	3	1
H26.9	0:00	0	0:00	0	0:38	14740	14740	59.0	14740	0	1	0
H26.10	0:01	80	1:38	39070	3:45	89560	128710	125.0	128630	80	1	1
H26.11	0:20	990	0:00	0	0:05	1510	2500	59.0	0	2500	0	2
H26.12	0:00	0	0:07	2820	0:00	0	2820	86.0	0	2820	0	1
H27.1	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0	101.5	0	0	0	0
H27.2	0:21	1020	0:00	0	0:00	0	1020	29.0	0	1020	0	1
H27.3	0:11	480	0:03	590	4:14	99130	100200	173.0	99720	480	2	2
H27.4	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0	80.5	0	0	0	0
H27.5	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0	76.5	0	0	0	0
H27.6	0:02	120	0:25	8940	2:00	47250	56310	140.0	56190	120	1	1
H27.7	0:04	220	3:59	89050	6:37	158070	247340	300.0	247120	220	3	2
H27.8	0:04	160	2:27	52050	2:22	54970	107180	166.0	107020	160	4	2
H27.9	0:00	0	0:00	0	1:12	27690	27690	152.5	27690	0	1	0
H27.10	0:00	0	0:22	8290	2:27	56680	64970	50.5	64970	0	1	0
H27.11	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0	113.0	0	0	0	0
H27.12	0:25	1280	0:15	5440	0:09	3140	9860	46.5	0	9860	0	3
H28.1	0:00	0	0:00	0	1:31	36610	36610	70.0	36610	0	1	0
H28.2	0:21	1030	0:00	0	0:00	0	1030	68.0	0	1030	0	1
H28.3	0:00	0	0:00	0	0:37	14360	14360	86.5	14360	0	1	0
H28.4	0:02	80	0:00	0	0:00	0	80	103.0	0	80	0	1
H28.5	0:00	0	0:00	0	2:44	65700	65700	124.0	65700	0	1	0
H28.6	0:03	150	1:00	22830	6:16	146410	169390	206.0	169240	150	3	1
H28.7	0:23	1280	1:43	39060	4:50	113600	153940	97.0	153720	220	2	1
H28.8	0:02	140	0:26	7150	10:25	246330	253620	174.0	253480	140	3	1
H28.9	0:09	440	1:39	37390	7:30	175570	213400	237.5	212960	440	5	1
H28.10	0:20	950	0:00	0	0:00	0	950	53.0	0	950	0	1
H28.11	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0	74.5	0	0	0	0
H28.12	0:18	920	0:00	0	2:49	67540	68460	106.5	67540	920	2	1
H29.1	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0	35.0	0	0	0	0
H29.2	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0	54.5	0	0	0	0
H29.3	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0	46.0	0	0	0	0
H29.4	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0	74.5	0	0	0	0
H29.5	0:04	210	0:08	3090	1:28	35050	38350	90.5	38140	210	1	1
H29.6	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0	117.5	0	0	0	0
H29.7	0:00	0	0:16	6260	1:47	41830	48090	85.5	48090	0	2	0
H29.8	0:04	170	0:46	17690	2:03	47540	65400	83.5	65230	170	1	1

表 2.8.2 小山雨水ポンプ場 運転日報

	降 雨 量 (mm)		1 号 電 動 (600 φ)			2 号 D/E (1650 φ)			3 号 D/E (1650 φ)		
	1時間最大	10分最大	運転時刻	停止時刻	運転時間	運転時刻	停止時刻	運転時間	運転時刻	停止時刻	運転時間
2016/5/16	15.5	5.0							20:56	23:40	2:44
2016/6/7	14	5.0							11:59	13:15	1:16
2016/6/16	9.5	2.5							15:55	17:11	1:16
2016/6/21	23	5.5				5:34	6:34	1:00	4:36	8:20	3:44
2016/7/9	15	6.5	7:28	7:47	0:19	7:10	8:03	0:53	7:05	10:39	3:34
2016/7/13	16.5	10.0				8:53	9:34	0:41			
2016/8/25	27	10.5				8:54	9:03	0:09	8:44	10:00	1:16
2016/8/29	15	4.0				21:07	21:33	0:26	20:51	21:10	0:19
2016/9/7	25.5	11.5				21:00	21:44	0:44	20:51	21:08	0:17
2016/9/8	30	16.0				9:44	10:12	0:28	9:39	11:20	1:41
2016/9/13	16	5.5							5:57	6:56	0:59
2016/9/20	18.5	7.0				12:47	13:14	0:27	12:41	16:28	3:47
2016/9/22	10	5.0							21:37	22:23	0:46
2016/12/13	9.5	2.0							22:00	23:35	1:35
2016/12/22	15.5	4.5							20:40	21:54	1:14

■は複数台ポンプが同時運転していることを示す

(2) 北條雨水ポンプ場

図2.8.2、表2.8.3、2.8.4に北條雨水ポンプ場の運転状況を示す。平成26年度～28年度の年間の運転回数は36～49日であり、小山雨水ポンプ場よりも稼働頻度が多い。

これは、幹線整備が終わっていない現状で、雨水をポンプ場に取り込むため、流入堰を超えた雨水がすべて北條雨水ポンプ場に流入する形になっているためである。流入水量自体は多くないことから、過去3年間では既設2台のポンプが同時運転した例は平成28年7月9日の1例のみである。現状、隔月ごとに運転するポンプを切りかえる運用がされている。

少量の雨水が流入するため、ポンプ井に溜まった雨水をポンプ井排水ポンプで排水しており、ポンプ井排水ポンプが稼働日数が平成28年度では278日と高頻度になっている。



図2.8.2 北條雨水ポンプ場 主ポンプ稼働状況

表 2.8.3 北條雨水ポンプ場 運転年報

月	号主ポンプ (φ1350)		2号主ポンプ (φ1350)		電動排水ポンプ		吐出量合計 (m³)	降雨量 (mm)	実排水量 (m³)	調整排水量 (m³)	実排水日数	調整排水日数
	運転時間	吐出量 (m³)	運転時間	吐出量 (m³)	運転時間	吐出量 (m³)						
H26.4	0:00	0	0:00	0	3:36	2160	2160	54.0	0	2160	0	10
H26.5	0:33	7722	0:00	0	6:34	3940	11662	60.0	8512	3150	2	16
H26.6	0:00	0	0:33	7722	9:19	5590	13312	49.5	8662	4650	2	24
H26.7	1:56	27144	0:00	0	12:48	7680	34824	100.0	29384	5440	5	24
H26.8	0:00	0	6:43	94302	12:54	7740	102042	239.0	96752	5290	4	21
H26.9	0:40	9360	0:00	0	8:48	5280	14640	47.5	10270	4370	3	23
H26.10	0:00	0	3:44	52416	3:20	2000	54416	120.5	53936	480	3	5
H26.11	0:00	0	0:09	2106	2:43	1630	3736	55.0	3226	510	1	6
H26.12	0:00	0	1:21	18954	39:56	23960	42914	82.0	24524	18390	5	21
H27.1	0:00	0	3:40	51480	31:27	18870	70350	102.0	59900	10450	6	20
H27.2	0:00	0	0:00	0	6:04	3640	3640	28.0	0	3640	0	16
H27.3	7:45	108810	0:00	0	25:21	15210	124020	175.0	117340	6680	8	20
H27.4	0:00	0	1:23	19422	107:42	64620	84042	76.5	30212	53830	6	29
H27.5	4:04	57096	0:00	0	58:42	35220	92316	82.5	61946	30370	6	30
H27.6	0:00	0	2:07	29718	32:00	19200	48918	127.0	31938	16980	2	30
H27.7	7:44	108576	0:00	0	68:16	40960	149536	271.0	118806	30730	7	30
H27.8	0:00	0	3:29	48906	31:47	19070	67976	135.0	55416	12560	8	30
H27.9	2:03	28782	0:00	0	35:05	21050	49832	131.0	36052	13780	7	29
H27.10	0:00	0	1:09	16146	6:36	3960	20106	45.5	16556	3550	1	22
H27.11	0:31	7254	0:00	0	12:39	7590	14844	107.0	9624	5220	4	15
H27.12	0:00	0	0:27	6318	3:22	2020	8338	41.0	6848	1490	1	9
H28.1	0:00	0	3:04	43056	57:59	34790	77846	64.0	46646	31200	1	24
H28.2	0:00	0	3:04	43056	20:48	12480	55536	55.5	46936	8600	3	20
H28.3	1:00	14040	0:00	0	19:56	11960	26000	81.5	15940	10060	1	17
H28.4	0:00	0	1:28	20592	103:43	62230	82822	94.5	29342	53480	5	30
H28.5	2:49	39546	0:00	0	26:57	16170	55716	109.5	42946	12770	4	27
H28.6	0:00	0	7:02	98748	47:47	28670	127418	181.5	106468	20950	10	28
H28.7	3:57	55458	0:23	5382	23:03	13830	74670	100.0	63100	11570	2	28
H28.8	0:00	0	9:35	134550	16:08	9680	144230	169.5	137740	6490	7	29
H28.9	6:12	87048	0:00	0	30:46	18460	105508	199.5	93578	11930	8	28
H28.10	0:00	0	0:00	0	8:23	5030	5030	47.5	0	5030	0	15
H28.11	0:20	4680	0:00	0	12:52	7720	12400	66.5	6420	5980	1	23
H28.12	0:00	0	3:12	44928	11:45	7050	51978	95.5	49098	2880	5	13
H29.1	0:07	1638	0:00	0	11:36	6960	8598	30.5	2338	6260	1	18
H29.2	0:00	0	1:00	14040	17:56	10760	24800	45.0	18540	6260	3	19
H29.3	0:53	12402	0:00	0	31:02	18620	31022	44.5	16102	14920	2	20
H29.4	0:00	0	0:38	8892	95:23	57230	66122	63.0	16442	49680	3	29
H29.5	3:29	48906	0:00	0	105:15	63150	112056	78.5	53176	58880	4	31
H29.6	0:00	0	0:51	11934	13:25	8050	19984	105.0	15564	4420	6	25
H29.7	1:37	22698	0:00	0	9:42	5820	28518	82.5	23758	4760	2	27
H29.8	0:00	0	2:07	29718	10:41	6410	36128	86.5	33278	2850	4	17

表 2.8.4 平成28年7月9日 運転管理簿

藤井寺市 下水道総務課 録

平成28年度 北條雨水ポンプ場 運転監視管理簿

市長 副市長 水道部長 監 査 官 危機管理室

管理時間		降雨量 (mm)		社界報		都府中		経路中		中 断		県 庁	
時刻	流入雨量 (mm)	ポンプ稼働	降雨量	1号機 (φ1350)	2号機 (φ1350)	1号機 (φ1350)	2号機 (φ1350)	1号機 (φ1350)	2号機 (φ1350)	1号機 (φ1350)	2号機 (φ1350)	1号機 (φ1350)	2号機 (φ1350)
時刻	流入雨量 (mm)	ポンプ稼働	降雨量	運転時刻	停止時刻	排水時間	運転時刻	停止時刻	排水時間	運転時刻	停止時刻	排水時間	運転時刻
1:00	18.60	18.10	1.5	6:47	6:52	0:04	11:39	11:43	0:02	2:37	3:55	0:18	
2:00	18.60	18.60	1.6	6:38	6:45	0:08	6:24	6:25	0:01	3:26	3:33	0:17	
3:00	18.70	9.80	2.5	6:32	6:27	1:31							
4:00	18.70	10.10	1.6	8:35	8:41	0:06				7:12	7:19	0:07	
5:00	18.70	12.00	3.6	8:47	9:55	1:07				11:32	12:06	0:34	
6:00	18.70	12.80	1.6	10:05	10:10	0:04							
7:00	18.80	12.70	16.5	10:25	10:50	0:04							
8:00	18.80	13.10	17.9	10:53	10:59	0:05							
9:00	18.80	13.60	11.5	11:28	11:51	0:02							
10:00	18.70	13.30	2.5										
11:00	18.70	12.80	1.5										
12:00	18.60	10.20	0.0										
13:00	18.60	10.60	0.0										
合 計				3:11		0:23		2:21		5189			
総 吐 出 量 (m³)				4691		5582		1410		5189			




■は複数台ポンプが同時運転していることを示す

2.9 現場状況

(1) 小山雨水ポンプ場

	
<p>外観</p>	<p>沈砂池</p>
	
<p>ポンプ室</p>	

(2) 北條雨水ポンプ場

	
<p>外観</p>	<p>沈砂池</p>
	
<p>ポンプ室</p>	